

建設関連業務委託設計書作成要領

[業務工種体系ツリー(案)]

制 定 平成23年 3月15日青整企第239号

1. はじめに

建設関連業務における積算においては、土木工事のような体系化が図られていない状況から、

- ・積算担当者の経験不足により、適正な積算が行われない。
- ・積算担当者個々の経験度や認識に応じて設計書を作成するため、内容に違いがある。

等といった問題点が生じている。

そこで、現行の測量業務積算基準、地質調査積算基準、設計業務等積算基準、及び用地調査等業務費積算基準等で規定された費目構成を整理し、合理的・機動的、かつ、統一性・一貫性のある体系の構築に向けて、

- ・積算の内容を発注者、受注者にとってわかりやすいものにする。
- ・誰が積算しても標準化された同じような積算となるものにする。

ことを目的に、「業務数量総括表」について、階層（レベル）数や階層（レベル）の定義、細分化法などの構成方法、用語名称や単位数量などの表示方法を工種ごとに標準化・規格化（業務工種体系化）を行い、①契約内容の明確化、②積算、検収、設計変更等業務の簡素化、③見積等の容易化などを図るものである。

2. 業務工種体系ツリーの構築

前述の業務工種体系の整備に伴い、「業務数量総括表」と設計書様式のうちの「業務費内訳表」における業務内容の表示方法を、工種の分類ごとに標準的に規定するとともに、業務の具体的項目をレベル0からレベル6までの7つの体系階層（レベル）で構成されたツリー状に整理し、使用する単位について規定するものであり、土木工事の**工事工種体系ツリー**に倣い、**業務工種体系ツリー**と呼ぶこととする。

ただし、この業務工種の体系化は暫定的なものであり、また、積算基準書や共通仕様書等を改訂するものでもなく、現行の積算基準書や共通仕様書等を基本として、まちまちとなっている積算方法の統一と、積算ミスの是正を図ることを目的とするものである。

(1) 業務工種体系における分類

各業務区分（レベル0：測量業務、地質調査業務、設計業務等、用地調査等業務（工損調査等業務を含む））毎に分類し、工事工種体系ツリーのように予算制度上及び事業執行上の区分を示す事業区分や、1件の工事として発注される単位区分を示す工事区分といった分類方法は行なわない。

「業務数量総括表」及び「業務費内訳表」には、費目区分（レベル1）から記載するものとするが、業務区分（レベル0）や業務内容によってその表示方法が異なることから、各業務共通の表示方法については定めないこととし、積算基準書や共通仕様書等に対応した分類とする。

詳細な分類方法は、各業務費毎の**業務工種体系ツリー**による。

(2) 業務工種体系の定義

業務工種体系の整備にあたって重要なことは、体系階層の定義を明確にすることであり、基本となる階層（レベル）数、各階層（レベル）の内容などを、共通的に定義することにある。

階層数の設定にあたっては、現行の「土木積算システム」が工事工種体系ツリーに基づいた7つの体系階層（レベル）で構成されていることや、建設関連業務の内容を細分化したときの最大階層数が7つ以下であることなどから、業務工種体系の階層数も7つとする。

「業務数量総括表」及び「業務費内訳表」における、それぞれの体系階層（レベル）の定義付けと業務内容の表示方法は、工事工種体系ツリーの考え方を準用し、建設関連業務の内容に合った表現を使うこととする。

体系階層（レベル）の定義付けをするうえで、基本となるのが、

① 「土木積算システム」における「工事数量総括表」への出力レベルが、細別（レベル4）及び規格（レベル5）までである。

② 「業務数量総括表」には、業務を構成する基本単位（＝契約数量）と、地形・地物の現場条件や設計条件等を明示し、契約内容を明確にする。

ことにあることから、契約対象となる最小単位の作業等を細別（レベル4）として設定し、上位レベルについては、各業務の構成に応じた設定とするものである。

また、設計業務等標準積算基準書（参考資料）で規定する「設計表示単位一覧」に示されている工種等の構成は、これを優先させるものとする。

例えば、「測量業務費」の基準点測量にあつては、「1～4級基準点測量」を細別とし、上位の種別も同様の「1～4級基準点測量」の名称とする。

また、「地質調査業務費」の機械ボーリングにあつては、「土質ボーリング」を細別とし、規格に「φ66mm、粘性土・シルト、鉛直下方」等を表示し、せん孔深度による補正区分は、積算要素として表示するものとする。

「設計業務費」の道路設計にあつては、「道路概略設計（A）」を細別とし、上位の種別に「道路概略設計」を表示する。

「用地調査等業務費」にあつては、「木造建物の調査及び算定」を細別とし、上位の種別に「建物等の調査」を表示する。

以下に、体系階層（レベル）ごとの定義をまとめ、備考欄には表示例を示す。

表 体系階層（レベル）の定義

レベル	名称	内 容	補 足 説 明	備 考 (例)
レベル0	業務区分	・費目構成の異なる測量、地質調査、設計業務等、用地調査等の4区分	・業務数量総括表及び業務費内訳表には自動的に表示	測量業務費 地質調査業務費 設計業務費 用地調査等業務費
レベル1	費目区分	・費目構成のうち業務価格を構成する費目を表示 ・レベル0と同様の名称を表示するものもある	・通常1件の業務として発注される区分 ・各々の業務内容により表示方法が異なる。	地上測量 地質調査費 解析等調査業務費 道路計画・設計 用地調査費
レベル2	工 種	・レベル1を構成する要素のうち、一定の作業目的を持つ一連作業の総称を表示	・設計業務等標準積算基準書（参考資料）に掲載された設計表示単位一覧による。	基準点測量 応用測量 地盤調査 地盤解析 道路設計 用地調査
レベル3	種 別	・体系全体の見通しをよくするため、レベル2とレベル4をつなぐレベル	・設計業務等標準積算基準書（参考資料）に掲載された設計表示単位一覧による。	3級基準点測量 路線測量 機械ボーリング 解析等調査業務 道路概略設計 建物等の調査
レベル4	細 別	・業務を構成する最小単位の作業を表すものであって、単位とともに契約数量を表示するレベル ・レベル3と同様の名称を表示するものもある	・設計業務等標準積算基準書（参考資料）に掲載された設計表示単位一覧による。 ・積算・見積り時には、このレベル項目が価格算出の基本となる。	3級基準点測量 中心線測量 土質ボーリング 断面図等の作成 道路概略設計（A） 木造建物の調査及び算定
レベル5	規 格	・レベル4を構成する作業等における地形・地物の現場条件や、設計条件等の契約上明示する条件等	・レベル4に付随して表示するレベルで、業務数量総括表では原則としてレベル4と同行に記述されるレベル	原野・丘陵地 測量幅20m 粘性土・シルト 1～2車線 木造建物（A）
レベル6	積算要素	・レベル4の価格算定上の構成要素であつて、基本的には契約上明示しないもの	・レベル4の構成を細分化する場合に表示するもので、表示しない場合が多い。 ・業務数量総括表には表示されない。	往復旅費 トラック運転経費

(3) 体系ツリー図における表示方法

1) 数量及び単位について

数量及び単位については、発注者・受注者ともに客観的に確認できるものでなければならないことから、積算に用いた数量及び単位と同一のものとする。

つまり、「業務費内訳表」の数量及び単位と、「業務数量総括表」の表示数量と表示単位は、同一とならなければならない。

「業務費内訳表」の作成にあたって、各体系階層（レベル）毎の数量及び単位の記載方法は、以下のとおりとする。

① 費目区分（レベル1）の数量及び単位は1式とする。

② 工種（レベル2）の数量及び単位は1式とすることを原則とする。

但し、例えば基準点測量で、1級～4級基準点測量の総点数を表示したい場合などの場合はこの限りでない。

詳しくは、各「業務費内訳表」の記載例によるものとする。

③ 種別（レベル3）の数量及び単位は1式とすることを原則とする。

但し、例えば機械ボーリングで、総掘進長を表示したい場合などの場合はこの限りでない。

詳しくは、各「業務費内訳表」の記載例によるものとする。

④ 細別（レベル4）の数量は、「設計業務等標準積算基準書（参考資料）」に掲載されている設計表示単位一覧に定められている積算表示数値に四捨五入するものとする。なお、単位は同設計表示単位一覧の積算用単位を使用するものとする。

但し、「旅費交通費」や「運搬費」「仮設費」等に係る細別（レベル4）は、受注者の任意性に委ねられるところから、1式と記載するものとする。

⑤ 規格（レベル5）には、業務工種体系ツリーに示す規格項目を記載するものとする。

⑥ 積算要素（レベル6）の数量は、細別（レベル4）に計上する積算表示数値を適用するものとする。

但し、業務工種体系ツリーに示すとおり、レベル6に計上される項目は殆どなく、受注者の任意性に委ねられる「旅費交通費」や「運搬費」「仮設費」等の一部のみである。

2) 体系ツリー図の構成について

体系ツリー図の左側には、各業務の構成を示すために、各レベルの項目名が樹形状に示しており、併せて該当する規格（レベル5）を表示している。

測量作業費の細別（レベル4）にかっこ書きで表示している成果検定費は、成果検定を必要とする測量作業の単位数量当り単価表に含めて計上する場合は、表示しないものとする。

次ページ以降に、業務工種体系ツリー(案)を示すが、国土交通省において業務工種体系の整備等が行われた場合には、速やかに、国に準拠するものとする。

なお、巻末には業務工種ツリー(案)に基づく、各「業務費内訳表」の記載例等を掲載する。

3. 業務工種体系ツリー（案）

《平成22年度末現在 業務工種体系ツリー》

業務区分 (レベル0)	費目区分 (レベル1)
1. 測量業務費	1-1-1 地上測量
	1-1-2 航空測量
	1-1-3 用地測量
2. 地質調査業務費	2-1-1 地質調査費
	2-1-2 解析等調査業務費(一般地質調査)
	2-2-1 地すべり調査費
	2-2-2 解析等調査業務費(地すべり調査)
3. 設計業務費	3-1-1 道路計画・設計
	3-1-2 道路構造物設計(橋梁設計)
	3-2-1 河川構造物設計
	3-3-1 砂防施設設計
4. 用地調査等業務費	4-1-1 用地調査費

1. 測量業務費

1-1 測量作業費

1-1-1 地上測量

レベル1 費目区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	単位	摘 要
地上測量	基準点測量	1級基準点測量	1級基準点測量	【地域・地形】	点	伐採のある場合は、「伐採」を別途計上する。 全て検定の対象とする。
			(成果検定費(1級基準点))	【GPS or トータルステーション or 手書き手簿】	点	
			伐 採	【 - 】	点	
			基準点設置(地上埋設(普通))	【 - 】	点	
			基準点設置(地上埋設(上面舗装))	【 - 】	点	
			基準点設置(地下埋設)	【 - 】	点	
			基準点設置(屋上埋設)	【 - 】	点	
		2級基準点測量	2級基準点測量	【地域・地形、伐採の有無】	点	
			(成果検定費(2級基準点))	【GPS or トータルステーション or 手書き手簿】	点	
			基準点設置(地上埋設(普通))	【 - 】	点	
			基準点設置(地上埋設(上面舗装))	【 - 】	点	
			基準点設置(地下埋設)	【 - 】	点	
			基準点設置(屋上埋設)	【 - 】	点	
			3級基準点測量	3級基準点測量	【地域・地形、伐採の有無、 永久標識設置の有無】	
		(成果検定費(3級基準点))		【GPS or トータルステーション or 手書き手簿】	点	
		基準点設置(地上埋設(上面舗装))		【 - 】	点	
		基準点設置(地下埋設)		【 - 】	点	
		基準点設置(屋上埋設)		【 - 】	点	
		4級基準点測量	4級基準点測量(永久標識設置なし)	【地域・地形、伐採の有無】	点	
			打合せ協議	【中間打合せ回数】	業務	
						単独発注の場合に計上する。

レベル1 費目区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	単位	摘 要
水準測量	水準測量	1級水準測量	1級水準測量観測	【地域・地形】	k m	道路上を適用。
			(成果検定費(1級水準測量))	【データコレクタ or 手書き手簿】	k m	全て検定の対象とする。
			水準点設置(永久標識)	【 - 】	点	
			水準点設置(永久標識以外)	【 - 】	点	
		2級水準測量	2級水準測量観測	【地域・地形】	k m	道路上を適用。
			(成果検定費(2級水準測量))	【データコレクタ or 手書き手簿】	k m	全て検定の対象とする。
			水準点設置(永久標識)	【 - 】	点	
			水準点設置(永久標識以外)	【 - 】	点	
		3級水準測量	3級水準測量観測	【道路上or道路外、地域・地形】	k m	
			(成果検定費(3級水準測量))	【データコレクタ or 手書き手簿】	k m	永久標識及びそれに準ずる標識を設置する場合に対象とする。
			水準点設置(永久標識)	【 - 】	点	
			水準点設置(永久標識以外)	【 - 】	点	
		4級水準測量	4級水準測量観測	【道路上or道路外、地域・地形】	k m	
			(成果検定費(4級水準測量))	【データコレクタ or 手書き手簿】	k m	永久標識及びそれに準ずる標識を設置する場合に対象とする。
			水準点設置(永久標識)	【 - 】	点	
水準点設置(永久標識以外)	【 - 】		点			
		打合せ協議	打合せ協議	【中間打合せ回数】	業務	単独発注の場合に計上する。
現地測量	現地測量	現地測量	現地測量	【縮尺、地域・地形】	k m ²	旧平板測量
		打合せ協議	打合せ協議	【中間打合せ回数】	業務	単独発注の場合に計上する。
応用測量	路線測量	作業計画		【 - 】	業務	
		現地踏査		【地域・地形、交通量】	k m	
		伐 採		【地域・地形、交通量】	k m	必要に応じて計上。
		線形決定(条件点の観測)		【地域・地形】	点	
		線形決定		【地域・地形】	k m	
		I P 設置		【地域・地形、交通量、曲線数】	k m	

レベル1 費目区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	単位	摘 要
			—中心線測量	【地域・地形、交通量、曲線数、測点間隔】	k m	3 kmを超えるものを検定の対象とする。
			—仮BM設置測量	【地域・地形、交通量】	k m	
			—(成果検定費(3級水準測量))	【データコレクタ or 手書き手簿】	k m	
			—(成果検定費(4級水準測量))	【データコレクタ or 手書き手簿】	k m	
			—縦断測量	【地域・地形、交通量】	k m	
			—(成果検定費(4級水準測量))	【データコレクタ or 手書き手簿】	k m	
			—(成果検定費(簡易水準測量))	【データコレクタ or 手書き手簿】	k m	
			—横断測量	【地域・地形、交通量、曲線数、測量幅、測点間隔】	k m	
			—詳細測量(縦断測量)	【地域・地形、交通量】	k m	
			—詳細測量(横断測量)	【地域・地形、交通量】	k m	
			—用地幅杭設置測量	【地域・地形、交通量】	k m	
			—打合せ協議	【中間打合せ回数】	業務	
		—河川測量	—作業計画	【 - 】	業務	
			—現地踏査	【 - 】	k m	
			—距離標設置測量	【 - 】	点	
			—水準基標測量	【 - 】	k m	
			—(成果検定費(2級水準測量))	【データコレクタ or 手書き手簿】	k m	
			—河川定期縦断測量(直接水準)	【 - 】	k m	
			—河川定期横断測量(直接水準(平地))	【 - 】	本	
			—河川定期横断測量(直接水準(山地))	【 - 】	本	
			—河川定期横断測量(間接水準(山地))	【 - 】	本	
			—河川定期横断測量(複写)	【 - 】	本	
			—打合せ協議	【中間打合せ回数】	業務	
		—河川工事測量	—作業計画	【 - 】	業務	河川測量を適用。
			—現地踏査	【地域・地形】	k m	路線測量を適用。
			—法線測量	【 - 】	k m	河川測量を適用。
			—河川縦断測量	【地域・地形】	k m	路線測量を適用。

レベル1 費目区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	単位	摘 要	
			—(成果検定費(4級水準測量))	【データコレクタ or 手書き手簿】	k m	3 kmを超えるものを検定の対象とする。	
			—(成果検定費(簡易水準測量))	【データコレクタ or 手書き手簿】	k m		
			—河川横断測量	【地域・地形、曲線数、測量幅、測点間隔】	k m	路線測量を適用。	
			—詳細測量(縦断測量)	【地域・地形】	k m	路線測量を適用。	
			—詳細測量(横断測量)	【地域・地形】	k m	路線測量を適用。	
			—打合せ協議	【中間打合せ回数】	業務	単独発注の場合に計上する。	
		—ダム・貯水池深浅測量	—作業計画	【 - 】	業務		
			—ダム・貯水池深浅測量	【水面幅】	測線		
			—河川定期横断測量(直接水準(平地))	【 - 】	本	水深<1mに適用。河川測量を適用。	
			—河川定期横断測量(直接水準(山地))	【 - 】	本	水深<1mに適用。河川測量を適用。	
			—打合せ協議	【中間打合せ回数】	業務	単独発注の場合に計上する。	
		—河川深浅測量	—作業計画	【 - 】	業務		
			—河川深浅測量	【水面幅】	測線		
			—河川定期横断測量(直接水準(平地))	【 - 1】	本	水深<1mに適用。河川測量を適用。	
			—河川定期横断測量(直接水準(山地))	【 - 1】	本	水深<1mに適用。河川測量を適用。	
			—打合せ協議	【中間打合せ回数】	業務	単独発注の場合に計上する。	
		—海岸深浅測量	—作業計画	【 - 】	業務		
			—海岸深浅測量	【水面幅】	測線		
			—打合せ協議	【中間打合せ回数】	業務	単独発注の場合に計上する。	
		—打合せ協議	—打合せ協議	—打合せ協議	【中間打合せ回数】	業務	複数の測量業務を同時発注する場合に計上するものとし、主たる業務の歩掛を適用する。
	—(直接経費)	—旅費交通費	—旅費交通費(測量作業)	【測量基地】	式	積算上の測量基地	
			—(レベル6)				
			—往復旅費及び滞在費 測量技師		人	現地に滞在して業務を行う場合に計上する。	
			—往復旅費及び滞在費 測量技師補		人		
			—往復旅費及び滞在費 測量助手		人		

レベル1 費目区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	単位	摘 要
			旅費交通費(打合せ協議)	【本店等の所在地】	式	積算上の測量基地
			(レベル6)			
			往復旅費		人回	鉄道運賃等の場合
			連絡車(ライトバン)運転経費		日	
		基地関係費	基地設置	【 - 】	式	
			基地使用費	【 - 】	式	
		安 全 費	安全費(率計上分)	【地域】	式	交通誘導員等
			安全費(積上げ分)	【計上項目】	式	熊対策ハンター、ハブ対策監視員及びこれに伴う機材等に係わるもの。
		そ の 他	器材運搬費	【 - 】	式	
			伐木補償費	【 - 】	式	
			車借上料	【 - 】	式	

1-1-2 航空測量

レベル1 費目区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	単位	摘 要		
航空測量	現地測量	基準点設置	3級基準点測量	【地域・地形、伐採の有無、永久標識設置の有無】	点	レベル500 地図作成のための標定点測量の基準とする場合に計上する。		
			(成果検定費(3級基準点))	【GPS or トータルステーション or 手書き手簿】	点			
			4級基準点測量(永久標識設置なし)	【地域・地形、伐採の有無】	点		レベル1,000 ～2,500 地図作成のための標定点測量の基準とする場合に計上する。	
			(成果検定費(4級基準点))	【GPS or トータルステーション or 手書き手簿】	点			
			3級水準測量視測	【道路上or道路外、地域・地形】	k m		図化のための簡易水準測量の基準を与える幹線測量となる場合に計上する。	
			(成果検定費(3級水準測量))	【データコレクタ or 手書き手簿】	k m			
			水準点設置(永久標識以外)	【 - 】	点		図化のための簡易水準測量の基準を与える幹線測量となる場合に計上する。	
			4級水準測量視測	【道路上or道路外、地域・地形】	k m			
			(成果検定費(4級水準測量))	【データコレクタ or 手書き手簿】	k m			
			水準点設置(永久標識以外)	【 - 】	点			
			細部測量	現地測量	【縮尺、地域・地形】	k m2	旧平板測量	
		空中写真測量	標定点設置	標定点測量	【地域・地形】	点	対空標識の撤収を含む。	
	対空標識の設置(写真縮尺 1/4,000)			【地域・地形】	点			
	対空標識の設置(写真縮尺 1/8,000)			【地域・地形】	点			
	対空標識の設置(写真縮尺 1/12,500)			【地域・地形】	点			
	刺 針			【地域・地形】	点			
	簡易水準測量			【地域・地形】	k m			
	(成果検定費(簡易水準測量))			【データコレクタ or 手書き手簿】	k m			
				撮 影 (写真縮尺 1/4,000)	撮影計画	【 - 】		k m2
	標定図作成				【 - 】	k m2		
標定図複製	【 - 】				k m2			
総 運 航	【 - 】	時間						
撮 影	【 - 】	時間						
滞 留	【 - 】	日						
			写真処理(白黒)	【 - 】	枚			

レベル1 費目区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	単位	摘 要
			—写真処理(カラー)	【 - 】	枚	} 全て検定の対象とする。 単独発注の場合に計上する。
			—成果検定費(密着写真)	【地区名】	枚	
			—成果検定費(数値写真)	【地区名】	枚	
			—打合せ協議	【中間打合せ回数】	業務	
		撮 影 (写真縮尺 1/8, 000)	—撮影計画	【 - 】	k m2	} 全て検定の対象とする。 単独発注の場合に計上する。
			—標定図作成	【 - 】	k m2	
			—標定図複製	【 - 】	k m2	
			—総 運 航	【 - 】	時間	
			—撮 影	【 - 】	時間	
			—滞 留	【 - 】	日	
			—写真処理(白黒)	【 - 】	枚	
			—写真処理(カラー)	【 - 】	枚	
			—成果検定費(密着写真)	【地区名】	枚	
			—成果検定費(数値写真)	【地区名】	枚	
			—打合せ協議	【中間打合せ回数】	業務	
		撮 影 (写真縮尺 1/12, 500)	—撮影計画	【 - 】	k m2	
			—標定図作成	【 - 】	k m2	
			—標定図複製	【 - 】	k m2	
			—総 運 航	【 - 】	時間	
			—撮 影	【 - 】	時間	
			—滞 留	【 - 】	日	
			—写真処理(白黒)	【 - 】	枚	
			—写真処理(カラー)	【 - 】	枚	
			—成果検定費(密着写真)	【地区名】	枚	
			—成果検定費(数値写真)	【地区名】	枚	
			—打合せ協議	【中間打合せ回数】	業務	

レベル1 費目区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	単位	摘 要
			— 数値図化	【地域・地形、 写真縮尺・図化倍率比】	k m2	全て検定の対象とする。 単独発注の場合に計上する。
			— 数値編集	【地域・地形】	k m2	
			— 補測編集	【地域・地形】	k m2	
			— 数値地形図データファイルの作成	【 - 】	k m2	
			— 成果検定費(1:1,000数値地図))	【地区名】	k m2	
			— 打合せ協議	【中間打合せ回数】	業務	
		数値図化 (レベル2, 500)	— 作業計画	【地域・地形、 写真縮尺・図化倍率比】	k m2	
			— 現地調査	【地域・地形】	k m2	
			— 空中三角測量(単コース調整)	【 - 】	モデル	
			— 空中三角測量(ブロック調整)	【 - 】	モデル	
			— 数値図化	【地域・地形、 写真縮尺・図化倍率比】	k m2	
			— 数値編集	【地域・地形】	k m2	
			— 補測編集	【地域・地形】	k m2	
			— 数値地形図データファイルの作成	【 - 】	k m2	
			— 成果検定費(1:2,500数値地図))	【地区名】	k m2	全て検定の対象とする。 単独発注の場合に計上する。
			— 打合せ協議	【中間打合せ回数】	業務	
		既成図数値化 (レベル2, 500)	— 作業計画	【地域・地形、 写真縮尺・図化倍率比】	k m2	
			— 計測用基図作成	【地域・地形】	k m2	
			— 計 測	【地域・地形】	k m2	
			— 編 集	【地域・地形】	k m2	
			— 数値地形図データファイルの作成	【 - 】	k m2	
			— 成果検定費(1:2,500既成図))	【地区名】	k m2	
			— 打合せ協議	【中間打合せ回数】	業務	
			— 打合せ協議	【中間打合せ回数】	業務	

レベル1 費目区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	単 位	摘 要		
	(直接経費)	旅費交通費	旅費交通費(現地測量)	(レベル6)	【測量基地】	式	積算上の測量基地	
				往復旅費及び滞在費	測量技師	人	現地に滞在して業務を行う場合に計上する。	
				往復旅費及び滞在費	測量技師補	人		
				往復旅費及び滞在費	測量助手	人		
				旅費交通費(空中写真測量)	(レベル6)	【撮影基地】	式	積算上の撮影基地
					日当及び宿泊費	操縦士	人	前進基地を利用する場合に計上する。
					日当及び宿泊費	整備士	人	
					往復旅費及び宿泊費	撮影士	人	
					往復旅費及び宿泊費	撮影助手	人	撮影士・撮影助手の本拠飛行場から本支店等の所在地までの交通費。
			往復交通費		回			
			旅費交通費(打合せ協議)	(レベル6)	【本支店等の所在地】	式	積算上の所在地	
				往復旅費	人回	鉄道運賃等の場合		
				連絡車(ライトバン)運転経費	日			
			基地関係費	基地設置	【 - 】	式	以下は、現地測量を必要とする場合で、必要に応じて計上する。	
				基地使用費	【 - 】	式		
安全費	安全費(率計上分)	【地域】	式	交通誘導員等				
	安全費(積上げ分)	【計上項目】	式	熊対策ハンター、ハブ対策監視員及びこれに伴う機材等に係わるもの。				

1-1-3 用地測量

レベル1 費目区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	単位	摘 要	
用地測量	用地測量	作業計画	作業計画	【 - 】	業務	用地調査等業務費の権利調査に該当する。	
			現地踏査	【地域】	業務		
		資料整理	公図等の転写	【地域】	m2		
			地積測量図転写	【地域】	m2		
			土地の登記記録調査	【地域】	m2		
			建物の登記記録調査	【 - 】	戸		
			権利者確認調査(当初)	【地域】	m2		
			権利者確認調査(追跡)	【 - 】	人		
			公図等転写連続図作成	【 - 】	m2		
			境界確認	復元測量	【地域】		m2
		境界確認		【地域】	m2		
		土地境界立会確認書作成		【地域】	m2		
		境界測量	補助基準点の設置	【地域】	m2		
			境界測量	【地域】	m2		
			用地境界仮杭設置	【地域】	m2		
			用地境界杭設置	【 - 】	本		
		境界点間測量	境界点間測量	【地域】	m2		
		面積計算	面積計算	【地域】	m2		
		用地実測図原図等の作成	用地実測図原図作成	【縮尺】	m2		縮尺 1/500を標準。
			用地現況測量(建物等)	【 - 】	m2		
			用地平面図作成	【縮尺】	m2		縮尺 1/500を標準。
			土地調書作成	【地域】	m2		
		公共用地境界確定協議	公共用地管理者との打合せ	【 - 】	業務		
現況実測平面図作成	【地域、縮尺】		m2	縮尺 1/500を標準。			
横断面図作成	【地域】		k m				

レベル1 費目区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	単位	摘 要
			依頼書作成	【 - 】	k m	
			協議書作成	【 - 】	k m	
		登記申請用図面	地形図	【 - 】	枚	10枚/1,000mを標準とし、実績精算。
			地積測量図	【 - 】	枚	30枚/1,000mを標準とし、実績精算。
		打合せ協議	打合せ協議	【中間打合せ回数】	業務	
	(直接経費)	旅費交通費	旅費交通費(打合せ協議)	【本店等の所在地】	式	積算上の所在地
			(レベル6)		人回	鉄道運賃等の場合
			往復旅費		日	
			連絡車(ライトバン)運転経費			
		基地関係費	基地設置	【 - 】	式	以下は、必要に応じて計上する。
			基地使用費	【 - 】	式	
		安全費	安全費(率計上分)	【地域】	式	交通誘導員等
			安全費(積上げ分)	【計上項目】	式	熊対策ハンター、ハブ対策監視員及びこれに伴う機材等に係わるもの。

2. 地質調査業務費

2-1 一般的な地質調査業務

2-1-1 地質調査費

レベル1 費目区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	摘要	
地質調査費	地盤調査	機械ボーリング	土質ボーリング	【孔径、土質、せん孔方向】	m		
			(レベル6) 土質ボーリング	【せん孔深度】	m		
			岩盤ボーリング	【孔径、岩質、せん孔方向】	m		
			(レベル6) 岩盤ボーリング	【せん孔深度】	m		
			サンプリング	シンウォールサンプリング	【 - 】	本	
				デニソンサンプリング	【 - 】	本	
		トリプルサンプリング		【 - 】	本		
		サウンディング 及び原位置試験	標準貫入試験	【土質】	回		
			スウェーデン式サウンディング	【 - 】	m		
			オランダ式二重管コーン貫入試験	【荷重】	m		
			ポータブルコーン貫入試験	【ロッド型式】	m		
			孔内水平載荷試験	【載荷方式】	回		
			現場透水試験	【保孔方法等、試験深度】	回		
		室内試験(CBR試験)	室内CBR用試料採取	【現状土 or 変状土】	箇所 又は個		
			現状土CBR試験	【 - 】	供試体		
			変状土CBR試験	【修正CBR or 設計CBR】	試料		
		室内試験(土質試験)	土粒子の密度試験	【 - 】	試料		
			土の含水比試験	【 - 】	試料		
			土の粒度試験	【試料質量】	試料		
			土の液性限界試験	【 - 】	試料		
			土の塑性限界試験	【 - 】	試料		
			土の突固め試験	【乾燥法 or 非乾燥法、 モールド径】	試料		

レベル1 費目区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	単位	摘 要
			—土の圧密試験	【 - 】	試料	
			—土の一軸圧縮試験	【 - 】	試料	
			—土の一面せん断試験	【試験方法】	試料	
			—土の三軸圧縮試験	【試験方法等】	試料	
			—【その他試験各種】			
		—室内試験(岩石試験)	—試料作成費	【採取方法、岩種等】	個	
			—吸水膨張試験	【 - 】	個	
			—密度試験	【 - 】	個	
			—圧縮強度試験	【 - 】	個	
			—X線解析試験	【非定方位法 or 定方位法】	個	
			—超音波伝播速度測定	【湿潤状態等】	個	
			—吸水及び有効間隙率試験	【 - 】	個	
			—【その他各種試験】			
		—解析等調査業務 (直接労務費)	—資料整理とりまとめ(直接労務費)	【土質ボーリング本数】	業務	岩盤ボーリング1本は土質ボーリング3本に換算して補正する。
			—断面図等の作成(直接労務費)	【土質ボーリング本数】	業務	
	(直接経費)	—電子成果品作成費		【 - 】	式	
		—特許使用料		【 - 】	式	
		—水道光熱電力料		【 - 】	式	
	(間接調査費)	—運 搬 費	—資機材運搬	【運搬機種・規格】	式	
			—(レベル6) —トラック運転経費	【規格】	日	
			—人員輸送	【運搬機種】	式	
			—(レベル6) —ライトバン運転経費	【規格】	日	
			—現場内小運搬(人肩運搬)	【 - 】	式	
			—(レベル6) —人肩運搬	【総運搬距離】	t	

レベル1 費目区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	単位	摘 要
			—現場内小運搬(特装车運搬(クローラ)) (レベル6) —特装车運搬(クローラ)	【 - 】 【総運搬距離】	式 t	
			—現場内小運搬(モノレール運搬) (レベル6) —モノレール運搬 —モノレール架設・撤去 —モノレール機械器具損料	【 - 】 【設置距離】	式 t 箇所 日	
			—現場内小運搬(索道運搬) (レベル6) —索道運搬 —索道架設・撤去 —索道機械器具損料	【 - 】 【設置距離】	式 t 箇所 日	
		—仮設費	—足場仮設 (レベル6) —平坦地足場 —湿地足場 —傾斜地足場 —水上足場	【 - 】 【ボーリング深度】 【ボーリング深度】 【地形傾斜、ボーリング深度】 【水深、ボーリング深度】	式 箇所 箇所 箇所 箇所	
		—その他間接調査費	—準備及び跡片付け —搬入路伐採等 —環境保全(仮囲い) —調査孔閉塞 —給水費(ポンプ運転)	【 - 】 【 - 】 【 - 】 【 - 】	業務 m 箇所 箇所 箇所	
		—旅費交通費	—旅費交通費(現地調査) (レベル6) —往復旅費及び滞在費 地質調査技師 —往復旅費及び滞在費 主任地質調査員 —往復旅費及び滞在費 地質調査員	【調査基地】	式 人 人 人	積算上の基地 現地に滞在して業務を行う場合に計上する。
		—施工管理費		【 - 】	式	

2-1-2 解析等調査業務費(一般地質調査)

レベル1 費目区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	単位	摘 要	
解析等調査 業務費 (コンサルタント的 調査業務)	地盤解析	解析等調査業務 (直接人件費)	既存資料の収集・現地調査(直接人件費)	【土質ボーリング本数】	業務	岩盤ボーリング1本は土質ボーリング3本に換算して補正する。 機械ボーリング単独発注の場合に計上する。	
			資料整理とりまとめ(直接人件費)	【土質ボーリング本数】	業務		
			断面図等の作成(直接人件費)	【土質ボーリング本数】	業務		
			総合解析とりまとめ(直接人件費)	【土質ボーリング本数、 試験種目数】	業務		
			打合せ協議(直接人件費)	【土質ボーリング本数、 中間打合せ回数】	業務		
	軟弱地盤解析	解析計画	解析計画	【 - 】	業務	他業務と同時発注の場合でも歩掛の低減は行わない。 1～6工法までの選定に適用する。 2～6工法を選定した場合に適用する。 軟弱地盤解析を単独で発注する場合に計上する。 ボーリング調査と同時発注する場合に計上するものとし、中間打合せは4回を標準として計上する。	
			現地踏査	【 - 】	業務		
			現況地盤解析	地盤破壊(円弧すべり)	【断面数】		業務
				地盤変形(簡便法)	【断面数】		業務
				地盤圧密(一次元解析)	【断面数】		業務
				地盤液状化(簡便法)	【断面数】		業務
			検討対策工法の選定	【 - 】	業務		
			対策後地盤解析	地盤破壊(円弧すべり)	【断面数】		業務
				地盤変形(簡便法)	【断面数】		業務
				地盤圧密(一次元解析)	【断面数】		業務
地盤液状化(簡便法)	【断面数】	業務					
最適工法の決定	【 - 】	業務					
照 査	【 - 】	業務					
打合せ協議	【中間打合せ回数】	業務					
打合せ協議	【中間打合せ回数】	業務					

レベル1 費目区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	単位	摘 要
	(直接経費)	旅費交通費	旅費交通費(打合せ協議)	【本店等の所在地】	式	積算上の所在地
			(レベル6)		人回	鉄道運賃等の場合
			往復旅費		日	
			連絡車(ライトバン)運転経費			
		電子成果品作成費		【 - 】	式	対象額とする直接人件費は軟弱地盤解析に係る額のみとする。

※ 軟弱地盤解析を同時発注する場合を例に記載しているため、ボーリング調査のみの場合の「電子成果品作成費」は、一般調査業務費にのみ計上する。

2-2 地すべり調査業務

2-2-1 地すべり調査費

レベル1 費目区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	単位	摘 要	
地すべり調査費	地盤調査	機械ボーリング	土質ボーリング	【孔径、土質、せん孔方向】	m		
			(レベル6) 土質ボーリング	【せん孔深度】	m		
			岩盤ボーリング	【孔径、岩質、せん孔方向】	m		
			(レベル6) 岩盤ボーリング	【せん孔深度】	m		
			サンプリング	シンウォールサンプリング	【 - 】	本	
				デニソンサンプリング	【 - 】	本	
				トリプルサンプリング	【 - 】	本	
			サウンディング 及び原位置試験	標準貫入試験	【土質】	回	
		スウェーデン式サウンディング		【 - 】	m		
		オランダ式二重管コーン貫入試験		【荷重】	m		
		ポータブルコーン貫入試験		【ロッド型式】	m		
		現場透水試験		【保孔方法等、試験深度】	回		
		室内試験(土質試験)	土粒子の密度試験	【 - 】	試料		
			土の含水比試験	【 - 】	試料		
			土の粒度試験	【試料質量】	試料		
			土の液性限界試験	【 - 】	試料		
			土の塑性限界試験	【 - 】	試料		
			土の突固め試験	【乾燥法 or 非乾燥法、 モールド径】	試料		
			土の圧密試験	【 - 】	試料		
			土の一軸圧縮試験	【 - 】	試料		
			土の一面せん断試験	【試験方法】	試料		
			土の三軸圧縮試験	【試験方法等】	試料		
			【その他試験各種】				

レベル1 費目区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	単位	摘 要
		解析等調査業務 (直接労務費)	資料整理とりまとめ(直接労務費) 断面図等の作成(直接労務費)	【土質ボーリング本数】 【土質ボーリング本数】	業務 業務	岩盤ボーリング1本は土質ボーリング3本に換算して補正する。
	地下水調査	地下水水位測定	水位計 設置 水位計 観測 水位計 資料整理	【測定法】 【測定法】 【測定法】	基 基・回 基・月	
		間隙水圧測定	間隙水圧測定	【 - 】	回	
		地下水検層	地下水検層 観測	【 - 】	孔	
		地下水追跡	地下水追跡 投入・採水 地下水検層 分析	【 - 】 【 - 】	個所 試料	
	移動変形調査	伸縮計による調査	伸縮計 設置 伸縮計 観測 伸縮計 資料整理	【 - 】 【 - 】 【 - 】	基 基・回 基・月	
		傾斜計による調査	傾斜計 設置 傾斜計 観測 傾斜計 資料整理	【 - 】 【 - 】 【 - 】	基 基・回 基・月	
		パイプ式歪計による調査	パイプ歪計 設置 パイプ歪計 観測 パイプ歪計 資料整理	【深度、方向ゲージ】 【 - 】 【 - 】	孔 孔・回 孔・月	
		孔内傾斜計による調査	挿入式孔内傾斜計 設置 挿入式孔内傾斜計 観測 挿入式孔内傾斜計 資料整理	【深度】 【 - 】 【 - 】	孔 孔・回 孔・月	

レベル1 費目区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	単位	摘 要		
	(直接経費)	電子成果品作成費		【 - 】	式	一般的な地質調査業務の計算式を適用する。		
			特許使用料	【 - 】	式			
			水道光熱電力料	【 - 】	式			
	(間接調査費)	運 搬 費	資機材運搬	資機材運搬	【運搬機種・規格】		式	
				(レベル6)				
				トラック運転経費	【規格】		日	
				人員輸送	【運搬機種】		式	
				(レベル6)				
				ライトバン運転経費	【規格】		日	
				現場内小運搬(人肩運搬)	【 - 】		式	
				(レベル6)				
				人肩運搬	【総運搬距離】		t	
				現場内小運搬(特装車運搬(クローラ))	【 - 】		式	
				(レベル6)				
				特装車運搬(クローラ)	【総運搬距離】		t	
				現場内小運搬(モノレール運搬)	【 - 】		式	
				(レベル6)				
				モノレール運搬	【設置距離】		t	
				モノレール架設・撤去			箇所	
				モノレール機械器具損料			日	
現場内小運搬(索道運搬)	【 - 】	式						
(レベル6)								
索道運搬	【設置距離】	t						
索道架設・撤去		箇所						
索道機械器具損料		日						
仮 設 費	足場仮設	(レベル6)						
		平坦地足場	【ボーリング深度】	箇所				
		湿地足場	【ボーリング深度】	箇所				
		傾斜地足場	【地形傾斜、ボーリング深度】	箇所				

レベル1 費目区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	単位	摘 要
			水上足場	【水深、ボーリング深度】	箇所	
		その他間接調査費	準備及び跡片付け	【 - 】	業務	
			搬入路伐採等	【 - 】	式	
			環境保全(仮囲い)	【 - 】	箇所	
			調査孔閉塞	【 - 】	箇所	
			給水費(ポンプ運転)	【 - 】	箇所	
		旅費交通費	旅費交通費(現地調査)	【調査基地】	式	積算上の基地
			(レベル6)			
			往復旅費及び滞在費 地質調査技師		人	現地に滞在して業務を行う場合に計上する。
			往復旅費及び滞在費 主任地質調査員		人	
			往復旅費及び滞在費 地質調査員		人	
		施工管理費		【 - 】	式	

2-2-2 解析等調査業務費(地すべり調査)

レベル1 費目区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	単位	摘 要
解析等調査 業務費 (コンサルタント的 調査業務)	地下水解析	地下水検層	地下水検層 解析	【 - 】	孔	
		地下水追跡	地下水追跡 解析	【 - 】	試料	
	地すべり解析	計画準備	計画準備	【調査種目数】	業務	
		解 析	地盤特性検討	【検討個所数】	業務	
			機構解析	【解析ブロック数】	業務	
			安定解析	【解析断面数】	業務	
			対策工法選定	【選定個所数】	業務	
	報告書作成	報告書作成	【調査種目数】	業務		
	打合せ協議	打合せ協議	【中間打合せ回数】	業務	地すべり調査を単独で発注する場合に計上する。	
	打合せ協議	打合せ協議	【中間打合せ回数】	業務	基礎地盤調査と同時発注する場合に計上するものとし、 中間打合せは4回を標準として計上する。	
(直接経費)	旅費交通費	旅費交通費(打合せ協議)		【本支店等の所在地】	式	積算上の所在地
		(レベル6) 往復旅費 連絡車(ライトバン)運転経費			人回 日	鉄道運賃等の場合
	電子成果品作成費		【 - 】	式	設計業務等積算基準による「その他の設計業務」の計算 式を適用する。	

※ 1. 基礎地盤調査と同時発注する場合、ボーリング調査に係る「解析等調査業務」の費用は計上しないものとする。

2. 解析等調査業務費に計上する「電子成果品作成費」について、地すべり調査の場合、その計算式が標準歩掛に明記されていないことから、設計業務等積算基準によるものとする。

レベル1 費目区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	単位	摘 要
			— サービスエリア詳細設計(予備設計なし)	【地形】	k m	電子計算機使用料は計上しない。
			— パーキングエリア詳細設計(予備設計あり)	【地形】	k m	
			— パーキングエリア詳細設計(予備設計なし)	【地形】	k m	
			— 座標計算	【 - 】	k m	
			— 設計協議	【中間打合せ回数】	業務	
		— 設計協議	— 設計協議	【中間打合せ回数】	業務	複数の種別を同時発注する場合には、レベル3から表示。
	— 交差点設計	— 平面交差点設計	— 平面交差点予備設計	【 - 】	箇所	必要に応じて計上するものとし、電子計算機使用料は、計上しない。
	〔交差点設計を本線設計と分離して発注する場合の業務工種体系ツリー〕		— 平面交差点詳細設計(予備設計あり)	【 - 】	箇所	
			— 平面交差点詳細設計(予備設計なし)	【 - 】	箇所	
			— 座標計算	【 - 】	k m	
			— 設計協議	【中間打合せ回数】	業務	
			— ダイヤモンド型IC設計	— ダイヤモンド型IC予備設計	【ランプ形状】	
			— ダイヤモンド型IC詳細設計(予備設計あり)	【ランプ形状】	箇所	
			— 座標計算	【 - 】	k m	
			— 設計協議	【中間打合せ回数】	業務	
		— 設計協議	— 設計協議	【中間打合せ回数】	業務	
	— 道路休憩施設設計	— 休憩施設予備設計	— サービスエリア予備設計	【地形】	k m	電子計算機使用料は計上しない。
	〔道路休憩施設設計を本線設計と分離して発注する場合の業務工種体系ツリー〕		— パーキングエリア予備設計	【地形】	k m	
			— 設計協議	【中間打合せ回数】	業務	
			— 休憩施設詳細設計	— サービスエリア詳細設計(予備設計あり)	【地形】	k m
				— サービスエリア詳細設計(予備設計なし)	【地形】	k m
				— パーキングエリア詳細設計(予備設計あり)	【地形】	k m
			— パーキングエリア詳細設計(予備設計なし)	【地形】	k m	

レベル1 費目区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	単位	摘 要
			座標計算	【 - 】	k m	必要に応じて計上するものとし、電子計算機使用料は、計上しない。
			設計協議	【中間打合せ回数】	業務	
		設計協議	設計協議	【中間打合せ回数】	業務	複数の種別を同時発注する場合には、レベル3から表示。
	歩道設計	歩道詳細設計	歩道詳細設計	【 - 】	k m	必要に応じて計上するものとし、電子計算機使用料は、計上しない。
			設計協議	【中間打合せ回数】	業務	
	門型ラーメン・ 箱型函渠設計	門型ラーメン・箱型函渠 予備設計	門型ラーメン・箱型函渠予備設計	【 - 】	箇所	基礎工検討と協議資料の作成 は、必要に応じて加除する。 道路設計に含めて発注する場合は計上しない。
			現地踏査	【 - 】	箇所	
		門型ラーメン詳細設計	門型ラーメン詳細設計	【断面形状、断面数】	箇所	道路設計に含めて発注する場合は計上しない。
			斜角による割増費	【斜角】	式	
			ウイング設計による割増費	【片側 or 両側】	式	
			現地踏査	【 - 】	箇所	
			基礎工詳細設計 [既製杭]	【 - 】	箇所	
			基礎工詳細設計 [場所打杭]	【 - 】	箇所	
		箱型函渠詳細設計	箱型函渠詳細設計	【断面形状、断面数】	箇所	道路設計に含めて発注する場合は計上しない。
			斜角による割増費	【斜角】	式	
			ウイング設計による割増費	【片側 or 両側】	式	
			現地踏査	【 - 】	箇所	
			基礎工詳細設計 [既製杭]	【 - 】	箇所	
			基礎工詳細設計 [場所打杭]	【 - 】	箇所	
			基礎工詳細設計 [深礎杭]	【 - 】	箇所	
		プレキャストボックス ウイングの取り付け設計	プレキャストボックスウイングの取り付け設計	【片側 or 両側】	箇所	電子計算機使用料は計上しない。
			現地踏査	【 - 】	箇所	必要に応じて計上するものとし、道路設計に含めて発注する場合は計上しない。
		プレキャストボックス 割付一般図の作成	プレキャストボックス割付一般図の作成	【 - 】	箇所	電子計算機使用料は計上しない。
			現地踏査	【 - 】	箇所	必要に応じて計上するものとし、道路設計に含めて発注する場合は計上しない。

レベル1 費目区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	単位	摘 要
		仮設構造物詳細設計	土留工詳細設計 [自立式]	【 - 】	基	
			土留工詳細設計 [切梁式]	【切梁段数】	基	
			土留工詳細設計 [アンカー式]	【アンカー段数】	基	
			土留工詳細設計 [タイロッド式]	【 - 】	基	
			土留工詳細設計 [切梁式併用タイロッド式]	【切梁段数】	基	
	擁壁・補強土設計	擁壁・補強土予備設計	擁壁・補強土予備設計	【 - 】	箇所	基礎工検討と協議資料の作成は、必要に応じて加除する。
			現地踏査	【 - 】	箇所	道路設計に含めて発注する場合は計上しない。
		逆T式擁壁詳細設計	逆T式擁壁詳細設計	【 - 】	箇所	
			現地踏査	【 - 】	箇所	道路設計に含めて発注する場合は計上しない。
			基礎工詳細設計 [既製杭]	【 - 】	箇所	
			基礎工詳細設計 [場所打杭]	【 - 】	箇所	
			基礎工詳細設計 [深礎杭]	【 - 】	箇所	
		L型擁壁詳細設計	L型擁壁詳細設計	【 - 】	箇所	
			現地踏査	【 - 】	箇所	道路設計に含めて発注する場合は計上しない。
			基礎工詳細設計 [既製杭]	【 - 】	箇所	
			基礎工詳細設計 [場所打杭]	【 - 】	箇所	
			基礎工詳細設計 [深礎杭]	【 - 】	箇所	
		重力式擁壁詳細設計	重力式擁壁詳細設計	【 - 】	箇所	
			現地踏査	【 - 】	箇所	道路設計に含めて発注する場合は計上しない。
			基礎工詳細設計 [既製杭]	【 - 】	箇所	
			基礎工詳細設計 [場所打杭]	【 - 】	箇所	
			基礎工詳細設計 [深礎杭]	【 - 】	箇所	
		井桁擁壁詳細設計	井桁擁壁詳細設計	【 - 】	箇所	
			現地踏査	【 - 】	箇所	道路設計に含めて発注する場合は計上しない。
			基礎工詳細設計 [既製杭]	【 - 】	箇所	
			基礎工詳細設計 [場所打杭]	【 - 】	箇所	
			基礎工詳細設計 [深礎杭]	【 - 】	箇所	

レベル1 費目区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	単 位	摘 要	
		大型ブロック積擁壁 詳細設計	大型ブロック積擁壁詳細設計	【 - 】	箇所	道路設計に含めて発注する場合は計上しない。	
			現地踏査	【 - 】	箇所		
			基礎工詳細設計 [既製杭]	【 - 】	箇所		
			基礎工詳細設計 [場所打杭]	【 - 】	箇所		
		補強土詳細設計	補強土詳細設計	【 - 】	箇所		道路設計に含めて発注する場合は計上しない。
			現地踏査	【 - 】	箇所		
		U型擁壁詳細設計	U型擁壁詳細設計	【 - 】	箇所		道路設計に含めて発注する場合は計上しない。
			現地踏査	【 - 】	箇所		
			基礎工詳細設計 [既製杭]	【 - 】	箇所		
			基礎工詳細設計 [場所打杭]	【 - 】	箇所		
		プレキャストL型擁壁 割付一般図の作成	プレキャストL型擁壁割付一般図の作成	【断面形状の種類】	箇所		電子計算機使用料は計上しない。
			現地踏査	【 - 】	箇所		
		仮設構造物詳細設計	土留工詳細設計 [自立式]	【 - 】	基		
			土留工詳細設計 [切梁式]	【切梁段数】	基		
			土留工詳細設計 [アンカー式]	【アンカー段数】	基		
			土留工詳細設計 [タイロッド式]	【 - 】	基		
			土留工詳細設計 [切梁式併用タイロッド式]	【切梁段数】	基		
	法面工設計	法面工予備設計	法面工予備設計	【 - 】	箇所	基礎工検討と協議資料の作成は、必要に応じて加除する。	
			現地踏査	【 - 】	箇所		道路設計に含めて発注する場合は計上しない。
		場所打ち法枠詳細設計	場所打ち法枠詳細設計	【 - 】	箇所	道路設計に含めて発注する場合は計上しない。	
			計画面積による割増費	【1断面当り面積】	式		
			現地踏査	【 - 】	箇所		
		吹付法枠詳細設計	吹付法枠詳細設計	【 - 】	箇所	道路設計に含めて発注する場合は計上しない。	
			計画面積による割増費	【1断面当り面積】	式		

レベル1 費目区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	単 位	摘 要	
			現地踏査	【 - 】	箇所	道路設計に含めて発注する場合は計上しない。	
		アンカー付場所打ち法枠 詳細設計	アンカー付場所打ち法枠詳細設計	【 - 】	箇所	道路設計に含めて発注する場合は計上しない。	
			計画面積による割増費	【1断面当り面積】	式		
			現地踏査	【 - 】	箇所		
		アンカー付吹付法枠 詳細設計	アンカー付吹付法枠詳細設計	【 - 】	箇所	道路設計に含めて発注する場合は計上しない。	
			計画面積による割増費	【1断面当り面積】	式		
			現地踏査	【 - 】	箇所		
	落石雪害防止工設計	落石防護柵詳細設計	落石防護柵詳細設計	【設計延長】	箇所	電子計算機使用料は計上しない。 必要に応じて計上する。	
				現地踏査	【 - 】		箇所
				仮設設計	【 - 】		箇所
			雪崩予防柵詳細設計	雪崩予防柵詳細設計	【 - 】	タイプ	電子計算機使用料は計上しない。
				計画面積による割増費	【1工種当り面積】	式	
				現地踏査	【 - 】	箇所	
			雪崩防護柵詳細設計	雪崩防護柵詳細設計	【 - 】	タイプ	電子計算機使用料は計上しない。
				計画面積による割増費	【1工種当り面積】	式	
				現地踏査	【 - 】	箇所	
			吊柵詳細設計	吊柵詳細設計	【 - 】	タイプ	道路設計に含めて発注する場合は計上しない。
				計画面積による割増費	【1工種当り面積】	式	
				現地踏査	【 - 】	箇所	
	設計協議	設計協議	設計協議	【中間打合せ回数】	業務	複数の工種を同時発注する場合には、レベル2から表示。	

レベル1 費目区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	単位	摘 要
	直接経費	旅費交通費	旅費交通費(現地踏査) (レベル6) — 連絡車(ライトバン)運転経費 — 往復旅費及び滞在費 技師長 — 往復旅費及び滞在費 主任技師 — 往復旅費及び滞在費 技師 (A) — 往復旅費及び滞在費 技師 (B) — 往復旅費及び滞在費 技師 (C) — 連絡車(ライトバン)運転経費	【本支店等の所在地】	式	積算上の基地
					日	通勤により業務を行う場合に計上。
					人	現地に滞在して業務を行う場合に計上する。
					人	
					人	
					人	
					日	滞在地～現地
			旅費交通費(設計協議) (レベル6) — 往復旅費 — 連絡車(ライトバン)運転経費	【本支店等の所在地】	式	積算上の所在地
					人回	鉄道運賃等の場合
					日	
		電子成果品作成費		【 - 】	式	(1)の概略設計、予備設計及び詳細設計を適用する。
		特許使用料		【 - 】	式	

- ※ 1. ここに掲げた一般構造物の予備・詳細設計を道路設計と同時発注する場合、「設計協議」及び「現地踏査」は道路設計にのみ計上するものとし、一般構造物設計には計上しない。
2. 一般構造物の予備設計及び「現地踏査」における1箇所とは、斜面・法面単位で考えるものとし、複数の施設設計をする場合は、主たる工種（構造物）にのみ計上するものとする。
また、詳細設計における1箇所とは、標準歩掛に定められた設計条件の範囲内にある同一断面を1箇所と捉え、連続している構造物もしくは同一斜面内で複数の断面設計を要する場合は、1箇所を1断面に読み替える。
3. 電子計算機使用料の算出にあたっては、率計上の対象が「直接人件費」であるか「標準歩掛」であるかに十分注意して適用することとし、「直接人件費」の場合は各種条件等による補正後の直接人件費を対象とし、「標準歩掛」の場合は補正前の直接人件費を対象とするものである。

3-1-2 道路構造物設計(橋梁設計)

レベル1 費目区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	単位	摘 要
道路構造物設計	橋梁設計	橋梁予備設計	橋梁予備設計	【橋長】	橋	必要に応じて計上する。
			—地震時保有水平耐力法による耐力照査	【 - 】	基	
			—関係機関との協議資料作成	【 - 】	業務	
			—現地踏査	【 - 】	業務	
			—設計協議	【中間打合せ回数】	業務	
		橋梁上部工詳細設計 (コンクリート上部工)	(RC)単純床版橋	【橋長】	橋	
			—(RC)単純T桁橋	【橋長、予備設計の有無】	橋	
			—(RC)単純中空床版橋	【橋長、予備設計の有無】	橋	
			—(RC)3径間連続中空床版橋	【橋長、予備設計の有無】	橋	
			—(RC)3径間連続T桁橋	【橋長、予備設計の有無】	橋	
			—(RC)3径間連続ラーメン橋	【橋長、予備設計の有無】	橋	
			—(PC)単純プレテンションI桁橋	【橋長、予備設計の有無】	橋	
			—(PC)単純プレテンションT桁橋	【橋長、予備設計の有無】	橋	
			—(PC)プレテンションホロー桁橋	【橋長、予備設計の有無】	橋	
			—(PC)単純中空床版橋	【橋長、予備設計の有無】	橋	
			—(PC)単純ポストテンションT桁橋	【橋長、予備設計の有無】	橋	
			—(PC)単純箱桁橋	【橋長、予備設計の有無】	橋	
			—(PC)3径間連結プレテンションT桁橋	【橋長、予備設計の有無】	橋	
			—(PC)3径間連結ポストテンションT桁橋	【橋長、予備設計の有無】	橋	
			—(PC)斜材付きπ型ラーメン橋	【橋長、予備設計の有無】	橋	
			—(PC)3径間連続中空床版橋	【橋長、予備設計の有無】	橋	
			—(PC)3径間連続ポストテンションT桁橋	【橋長、予備設計の有無】	橋	
			—(PC)3径間連続箱桁橋	【橋長、予備設計の有無】	橋	
			橋梁上部工詳細設計 (鋼橋上部工)	(鋼)単純H形橋	【橋長、予備設計の有無】	橋
				—(鋼)単純合成H形橋	【橋長、予備設計の有無】	橋
				—(鋼)単純鉸桁橋	【橋長、予備設計の有無】	橋
				—(鋼)単純合成鉸桁橋	【橋長、予備設計の有無】	橋

レベル1 費目区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	単位	摘 要	
			—(鋼)単純鋼床版鈹桁橋	【橋長、予備設計の有無】	橋		
			—(鋼)単純箱桁橋	【橋長、予備設計の有無】	橋		
			—(鋼)単純合成箱桁橋	【橋長、予備設計の有無】	橋		
			—(鋼)単純鋼床版箱桁橋	【橋長、予備設計の有無】	橋		
			—(鋼)ゲルバー桁橋	【橋長、予備設計の有無】	橋		
			—(鋼)単純トラス橋	【橋長、予備設計の有無】	橋		
			—(鋼)3径間連続鈹桁橋	【橋長、予備設計の有無】	橋		
			—(鋼)π型ラーメン鈹桁橋	【橋長、予備設計の有無】	橋		
			—(鋼)ゲルバートラス橋	【橋長、予備設計の有無】	橋		
			—(鋼)3径間連続鋼床版鈹桁橋	【橋長、予備設計の有無】	橋		
			—(鋼)3径間連続トラス橋	【橋長、予備設計の有無】	橋		
			—(鋼)3径間連続箱桁橋	【橋長、予備設計の有無】	橋		
			—(鋼)3径間連続鋼床版箱桁橋	【橋長、予備設計の有無】	橋		
		—橋梁下部工詳細設計	—橋台工 [重力式橋台]	【 - 】	基	液状化が生じる地盤にある橋台の検討を含めて標準歩掛とする。	
			—橋台工 [逆T式橋台]	【 - 】	基		
			—橋台工 [控え壁式橋台]	【 - 】	基		
			—橋台工 [ラーメン式橋台]	【 - 】	基		
			—橋台工 [箱式橋台]	【 - 】	基		
			—橋台工 [ラーメン式橋台(2方向)]	【 - 】	基		
			—橋脚工 [重力式橋脚]	【 - 】	基		
			—橋脚工 [壁式橋脚(逆T式)]	【 - 】	基		
			—橋脚工 [柱式橋脚] (2柱式)	【 - 】	基		
			—橋脚工 [張出式橋脚]	【 - 】	基		
			—橋脚工 [ラーメン式橋脚]	【 - 】	基		
			—橋脚工 [SRC橋脚] (中空式橋脚)	【 - 】	基		
		—橋梁基礎工詳細設計	—橋台基礎工 [既製杭]	【 - 】	基		液状化が生じる地盤にある橋台基礎の検討を含めて標準歩掛とする。
			—橋台基礎工 [場所打杭]	【 - 】	基		
			—橋台基礎工 [深礎杭]	【 - 】	基		

レベル1 費目区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	単位	摘 要
			橋脚基礎工 [既製杭]	【 - 】	基	必要に応じて計上する。
			橋脚基礎工 [場所打杭]	【 - 】	基	
			橋脚基礎工 [深礎杭]	【 - 】	基	
			橋脚基礎工 [井筒]	【 - 】	基	
			橋脚基礎工 [鋼管矢板ウエル]	【 - 】	基	
			橋脚基礎工 [ニューマチックケーソン]	【 - 】	基	
		橋梁架設工詳細設計	架設計画及び架設工設計	【架設工法】	工法	
		座標計算	座標計算	【 - 】	橋	
		施工計画	施工計画	【 - 】	橋	
		動的照査	動的照査	【 - 】	橋	
		関係機関との 協議資料作成	関係機関との協議資料作成	【 - 】	業務	
		現地踏査	現地踏査	【 - 】	業務	
		設計協議	設計協議	【中間打合せ回数】	業務	
		仮設構造物詳細設計	土留工詳細設計 [自立式]	【 - 】	基	
			土留工詳細設計 [切梁式]	【切梁段数】	基	
			土留工詳細設計 [アンカー式]	【アンカー段数】	基	
			土留工詳細設計 [タイロッド式]	【 - 】	基	
			土留工詳細設計 [切梁式併用タイロッド式]	【切梁段数】	基	
			一般通行用仮橋詳細設計	【 - 】	橋	
			工事用仮橋詳細設計	【 - 】	橋	
			仮棧橋詳細設計	【 - 】	橋	

レベル1 費目区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	単位	摘 要
	直接経費	旅費交通費	旅費交通費(現地踏査) (レベル6) — 連絡車(ライトバン)運転経費 — 往復旅費及び滞在費 主任技師 — 往復旅費及び滞在費 技師 (A) — 往復旅費及び滞在費 技師 (B) — 連絡車(ライトバン)運転経費 旅費交通費(設計協議) (レベル6) — 往復旅費 — 連絡車(ライトバン)運転経費	【本店等の所在地】 【本店等の所在地】	式 日 人 人 人 日 式 人回 日 式 式	積算上の基地 通勤により業務を行う場合に計上。 現地に滞在して業務を行う場合に計上する。 滞在地～現地 積算上の所在地 鉄道運賃等の場合 (1)の概略設計、予備設計及び詳細設計を適用する。
		電子成果品作成費		【 - 】	式	
		特許使用料		【 - 】	式	

- ※ 1. ここに掲げた橋梁詳細設計における、「座標計算」「施工計画」「動的照査」「関係機関との協議資料作成」「現地踏査」及び「設計協議」に係る費用は、橋梁詳細設計（上部工・下部工・基礎工・架設工）全体に対して1橋（業務）当りの費用を計上する。
2. 橋梁下部工（橋台）及び橋梁基礎工（橋台基礎）の設計において、「橋に影響を与える液状化が生じる地盤での橋台（橋台基礎）照査を実施する場合の歩掛」を追加する場合は、追加後の歩掛を標準歩掛として取り扱うので注意を要する。
3. 電子計算機使用料の算出にあたっては、率計上の対象が「標準歩掛」となっているので、補正前の直接人件費を対象としていることに注意を要する。

3-2 河川改修事業

3-2-1 河川構造物設計

レベル1 費目区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	単位	摘 要	
河川構造物設計	護岸設計	護岸予備設計	護岸予備設計	【 - 】	m	標準歩掛は無いので、必要に応じて見積りを徴収する。	
			設計協議	【中間打合せ回数】	業務		
		護岸詳細設計	護岸詳細設計	【両岸 or 片岸】	m	業務内容に応じて項目を加除する。	
			設計協議	【中間打合せ回数】	業務		
		樋門設計	樋門予備設計	樋門予備設計	【 - 】	箇所	業務内容に応じて項目を加除する。
				設計協議	【中間打合せ回数】	業務	
	樋門詳細設計		樋門詳細設計 [柔構造型式]	【断面積、連数、管長】	箇所	業務内容に応じて項目を加除する。	
			樋門詳細設計 [剛支持直接基礎]	【断面積、連数、スパン】	箇所		
	設計協議		【中間打合せ回数】	業務			
	河川用小形水門設備 予備設計	河川用小形水門設備予備設計	【扉体面積】	門	必要に応じて計上する。		
		設計協議	【中間打合せ回数】	業務			
	設計協議	設計協議	【中間打合せ回数】	業務	複数の種別を同時発注する場合には、レベル3から表示。		
	河川排水機場設計	河川排水機場予備設計	河川排水機場予備設計 [パイプ形式]	【総排水量】	業務	業務内容に応じて項目を加除する。	
			打合せ協議	【中間打合せ回数】	業務		
		河川排水機場詳細設計	河川排水機場詳細設計 [パイプ形式]	【総排水量】	業務	業務内容に応じて項目を加除する。	
打合せ協議			【中間打合せ回数】	業務			
揚排水ポンプ設備 予備設計		揚排水ポンプ設備予備設計	【形式、ポンプ口径】	台	必要に応じて計上する。		
		設計協議	【中間打合せ回数】	業務			
設計協議	設計協議	【中間打合せ回数】	業務	複数の種別を同時発注する場合には、レベル3から表示。			

レベル1 費目区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	単位	摘 要
	設計協議	設計協議	設計協議	【中間打合せ回数】	業務	複数の工種を同時発注する場合には、レベル2から表示。
	直接経費	旅費交通費	旅費交通費(現地踏査)	【本店等の所在地】	式	積算上の基地
			(レベル6)		日	通勤により業務を行う場合に計上。
			連絡車(ライトバン)運転経費		人	現地に滞在して業務を行う場合に計上する。
			往復旅費及び滞在費 主任技師		人	
			往復旅費及び滞在費 技師 (A)		人	
			往復旅費及び滞在費 技師 (B)		人	
			連絡車(ライトバン)運転経費		日	滞在地～現地
			旅費交通費(設計協議)	【本店等の所在地】	式	積算上の所在地
			(レベル6)		人回	鉄道運賃等の場合
			往復旅費		日	
			連絡車(ライトバン)運転経費			
		電子成果品作成費		【 - 】	式	(1)の概略設計、予備設計及び詳細設計を適用する。
		特許使用料		【 - 】	式	

- ※ 1. ここに掲げた護岸詳細設計及び樋門設計における標準歩掛は、標準的な樋門の設計業務内容を示すものであることから、積算においては各々の設計条件に応じて作業区分を加除したうえで適用するものとする。
2. 樋門詳細設計において、予備設計なしで行う場合には、位置・計画流量・断面形状・基礎型式・管材・構造形式等を検査させる場合には、予備設計の作業区分である「基本事項の検討」歩掛を加算するものとする。また、「施工計画検討」等を行わせる場合も同様とし、「標準歩掛の補正」の対象とする。
3. 樋門詳細設計の積算にあたって、「景観設計において特別な検討」や「構造計算において地盤処理工(置換基礎)の検討」、「施工計画において地盤処理工(置換基礎)の検討」を行う場合に加算した歩掛についても、「標準歩掛」として取り扱うこととなるので、上記2.と同様に「標準歩掛の補正」の対象となるので注意を要する。
4. 樋門ゲート設備設計は、土木工事標準積算基準書(機械編・電気通信編)第IX編第21章機械設備設計業務委託によるものである。

3-3 砂防・地すべり対策事業

3-3-1 砂防施設設計

レベル1 費目区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	単位	摘 要
砂防施設設計	砂防えん堤設計	砂防えん堤予備設計	砂防えん堤予備設計	【 - 】	基	複数の工種を同時発注する場合には、レベル2から表示。
			現地踏査	【 - 】	業務	
			打合せ協議	【中間打合せ回数】	業務	
		砂防えん堤詳細設計	重力式(透過型)砂防えん堤詳細設計	【 - 】	基	
			重力式(不透過型)砂防えん堤詳細設計	【 - 】	基	
			現地踏査	【 - 】	業務	
	流木対策工設計	流木対策工予備設計	流木対策工予備設計	【 - 】	業務	
			打合せ協議	【中間打合せ回数】	業務	
	流木対策工設計	流木対策工詳細設計	流木対策工詳細設計	【 - 】	業務	
			打合せ協議	【中間打合せ回数】	業務	
	流路工設計	流路工詳細設計	流路工詳細設計	【流路工延長、床固工基数、 帯工基数】	箇所	
			管理用道路設計	【 - 】	箇所	
			景観設計	【 - 】	箇所	
			付属施設設計	【取水工・排水工基数】	基	
現地踏査			【 - 】	業務		
打合せ協議			【中間打合せ回数】	業務		
打合せ協議	打合せ協議	打合せ協議	【中間打合せ回数】	業務		

レベル1 費目区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	摘要			
	直接経費	旅費交通費	旅費交通費(現地踏査) (レベル6)	【本店等の所在地】	式	積算上の基地			
							連絡車(ライトバン)運転経費	日	通勤により業務を行う場合に計上。
							往復旅費及び滞在費 主任技師	人	現地に滞在して業務を行う場合に計上する。
							往復旅費及び滞在費 技師(A)	人	
							往復旅費及び滞在費 技師(B)	人	
			連絡車(ライトバン)運転経費	日	滞在地～現地				
			旅費交通費(設計協議) (レベル6)	【本店等の所在地】	式	積算上の所在地			
							往復旅費	人回	鉄道運賃等の場合
							連絡車(ライトバン)運転経費	日	
							電子成果品作成費	式	(1)の概略設計、予備設計及び詳細設計を適用する。
特許使用料	式								

- ※ 1. 砂防えん堤詳細設計における施設設計内訳の小項目に示したもので該当しない工種がある場合は、その人員数を控除するものとする。
2. 流木対策工予備設計における「景観検討」及び「施工計画検討」、流木対策詳細設計における「景観設計」及び「施工計画及び仮設構造物設計」を計上する場合には、各々の標準歩掛にその人員数を加算するものとする。
3. 流路工詳細設計における施設設計の小項目に該当しない工種がある場合も、その人員数は控除するものとする。

4. 用地調査等業務費

4-1 用地調査等業務費

4-1-1 用地調査費

レベル1 費目区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	単 位	摘 要	
用地調査費	用地調査	権利調査	公図等の転写	【地域】	m2	用地測量における資料整理として測量業務費に計上する。	
			地積測量図転写	【地域】	m2		
			土地の登記記録調査	【地域】	m2		
			建物の登記記録調査	【 - 】	戸		
			権利者確認調査(当初)	【地域】	m2		
			権利者確認調査(追跡)	【 - 】	人		
			公図等転写連続図作成	【 - 】	m2		
			墓地管理者等の調査	【 - 】	使用者		
			予備調査	打合せ協議	【中間打合せ回数】		業務
				現地踏査	【 - 】		業務
				企業の内容等の調査	【 - 】		事業所
				敷地使用実態の調査	【敷地面積】		事業所
		建物調査		【敷地面積】	棟		
		機械設備等調査		【敷地面積】	事業所		
		移転計画案の作成		【敷地面積】	事業所		
		建物等の調査		打合せ協議(基本額)	【中間打合せ回数】	業務	
			打合せ協議(加算額)		権利者		
			現地踏査	【 - 】	業務		
			木造建物の調査及び算定	【建物区分、建物延べ面積】	棟		
			木造特殊建物の調査及び算定		棟		
			非木造建物の調査及び算定 (構造計算をしない場合)	【建物構造、用途区分、 建物延べ面積】	棟		
			非木造建物の調査及び算定 (構造計算を行う場合)		棟		
			建物の法令適合性の調査及び算定	【対象法令区分】	棟		
			機械設備の調査及び算定	【設備区分、設置面積】	事業所		

レベル1 費目区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	単位	摘 要
			<ul style="list-style-type: none"> —機械設備の見積 —生産設備の調査及び算定 —附帯工作物の調査及び算定 —立竹木の調査及び算定 —庭園の調査及び算定 —墳墓等の調査及び算定 —建物等の残地移転要件の該当性の検討 —照応建物の設計案の作成 	【設備区分】 【設備区分、設備の延べ面積】 【調査区分、敷地面積】 【調査区分、地形】 【調査区分、敷地延べ面積】 【調査区分、画地数】 【 - 】 【 - 】	台 設備 (箇所) 戸 (箇所) m2 箇所 m2 権利者 案	
		—営業その他の調査	<ul style="list-style-type: none"> —打合せ協議(基本額) —打合せ協議(加算額) —現地踏査 —営業に関する調査及び算定 —仮営業所設置工事費用の調査及び算定 —居住者に関する調査 —動産に関する調査及び算定 —その他通損に関する算定 	【中間打合せ回数】 【 - 】 【難易区分】 【物件区分】 【 - 】 【動産区分、床面積】 【補償区分】	業務 権利者 権利者 事業所 事業所 世帯 戸 (店舗・ 事務所) 世帯 (所有者)	一般住家にあつて3項目を同時に発注する場合は別途歩掛によること 復数の種別を同時発注する場合には、レベル3から表示。
		—打合せ協議	—打合せ協議	【中間打合せ回数】	業務	

レベル1 費目区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	単位	摘 要
	直接経費	材料費等	トレース印刷費及び消耗品費	【本支店等の所在地】	式	直接人件費の8%
		旅費交通費	旅費交通費(現地調査)	【本支店等の所在地】	式	積算上の基地
			(レベル6)		日	通勤により業務を行う場合に計上。
			連絡車(ライトバン)運転経費		人	現地に滞在して業務を行う場合に計上する。
			主任技師		人	
			技師(A)		人	
			技師(B)		人	
			技師(C)		人	
			技師(D)		人	
			連絡車(ライトバン)運転経費		日	滞在地～現地
			旅費交通費(打合せ協議)	【本支店等の所在地】	式	積算上の所在地
			(レベル6)		人回	鉄道運賃等の場合
			往復旅費		日	
			連絡車(ライトバン)運転経費		式	必要に応じて計上する。
		その他の経費				

【設計書の記載例】

1. 測量業務費の記載例

(1) 路線測量の記載例

【記載例 1 - 1】

測量業務費内訳表

費目	工種	種別	細別・規格	積算要素	数量	単位	単価	金額	摘要
《測量業務費》 委託延長L= 5.00 km									
地上測量									
					1.00	式			
基準点測量									
					100.00	点			
1級基準点測量									
					1.00	式			
				1級基準点測量 市街地乙・耕地／平地と原野／低山地の混在 内・外業	5.00	点			WI902100
				成果検定費（1級基準点） GPS測量機	5.00	点			X7291860
基準点設置 地上埋設（普通） 市街地乙・耕地／平地と原野／低山地の混在									
					5.00	点			WI102112
2級基準点測量									
					1.00	式			
				2級基準点測量 市街地乙・耕地／平地と原野／低山地の混在 内・外業 伐採 無	5.00	点			WI902103
				成果検定費（2級基準点） GPS測量機	5.00	点			X7291870
基準点設置 地上埋設（普通） 市街地乙・耕地／平地と原野／低山地の混在									
					5.00	点			WI102112
3級基準点測量									
					1.00	式			
				3級基準点測量 市街地乙・耕地／平地と原野／低山地の混在 内・外業 伐採 有 永久標識設置 有	15.00	点			WI902106
				成果検定費（3級基準点） トータルステーション	15.00	点			X7291840
基準点設置 コンクリート杭設置 市街地乙・耕地／平地と原野／低山地の混在									
					15.00	点			WI102112
4級基準点測量									
					1.00	式			
				4級基準点測量 市街地乙・耕地／平地と原野／低山地の混在 内・外業 伐採 有 永久標識設置なし	75.00	点			WI902109
水準測量									
					1.00	式			
2級水準測量									
					1.00	式			
				2級水準測量観測 市街地乙・耕地／平地と原野／低山地の混在 内・外業 道路外	13.00	km			WI902203
				成果検定費（2級水準測量） データコレクタ	13.00	km			X7291960
水準点設置（永久標識） 市街地乙・耕地／平地と原野／低山地の混在 内・外業 道路外									
					2.00	点			WI902218
現地測量									
					1.00	式			
現地測量									
					1.00	式			
現地測量 縮尺1/500、市街地・平地 内・外業									
					0.05	km ²			市街地を細部測量

成果検定費は、本記載例により計上するほか、単位数量当り単価表に含めて計上してもよい。

仮BM設置や縦断測量の基準となる点として、近傍に既知点が無い場合に計上するものであり、平地に仮BMを設置する場合の既知点は2級水準点以上となる。

費目	工種	種別	細別・規格	積算要素	数量	単位	単価	金額	摘要
現地測量									WI902300
				混在 無、平地 内・外業 1/500	1.00	式			
応用測量					1.00	式			
路線測量					5.00	km			
作業計画					1.00	業務			WI902400
現地踏査				市街地乙・耕地/平地と原野/低山地の混在 0台以上1000台未満/12時間	5.00	km			WI902403
伐採				原野・低山地 0台以上1000台未満/12時間	2.00	km			WI902406
線形決定				市街地乙・耕地/平地と原野/低山地の混在	5.00	km			WI902412
IP設置				市街地乙・耕地/平地と原野/低山地の混在 内・外業 0台以上1000台未満/12時間	5.00	km			WI902415
中心線測量				市街地乙・耕地/平地と原野/低山地の混在 内・外業 0台以上1000台未満/12時間	5.00	km			WI902418
仮BM設置測量				市街地乙・耕地/平地と原野/低山地の混在 内・外業 0台以上1000台未満/12時間	5.00	km			WI902421
成果検定費(3級水準測量)				データコレクタ	3.00	km			X7291970
成果検定費(4級水準測量)				データコレクタ	2.00	km			X7291980
縦断測量				市街地乙・耕地/平地と原野/低山地の混在 内・外業 0台以上1000台未満/12時間	5.00	km			WI902424
成果検定費(4級水準測量)				データコレクタ	3.00	km			X7291980
成果検定費(簡易水準測量)				データコレクタ	2.00	km			X7291985
横断測量				市街地乙・耕地/平地と原野/低山地の混在 内・外業 測点間隔 20m	5.00	km			WI902427
打合せ協議					1.00	式			
打合せ協議					1.00	式			
路線測量 打合せ協議				中間打合せ 3回	1.00	業務			WI102439
旅費交通費					1.00	式			Z02
旅費交通費(測量作業)					1.00	式			
往復旅費及び滞在費 測量技師				仙台~弘前 滞在(外業所要)日数 3.5日	1.00	人			V9101
往復旅費及び滞在費 測量技師補				仙台~弘前 滞在(外業所要)日数 4.5日	1.00	人			V9102
往復旅費及び滞在費 測量助手				仙台~弘前 滞在(外業所要)日数 4.5日	2.00	人			V9103
旅費交通費(打合せ協議)					1.00	式			
連絡車(ライトバン)運転費				2時間	5.00	日			WI202409
安全費					1.00	式			Z04
直接業務費計					1.00	式			

仮BM設置測量は、平地で3級水準測量
山地で4級水準測量により行なうことから、成果検定費も各々の検定料金を適用する。

縦断測量は、平地で4級水準測量、山地で簡易水準測量により行なうことから、成果検定費も各々の検定料金を適用する。

複数の測量業務を同時発注する場合には、レベル2(工種)に計上する。

費目	工種	種別	細別・規格	積算要素	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
直接測量費									
諸経費									
測量業務価格									
消費税相当額									
測量業務費									

- 注) 1. ここに記載した体系階層（レベル）は、青森県が独自に定めた「業務工種体系ツリー（案）」によるものである。
2. 「旅費交通費」「安全費」等の直接経費を計上する場合、現行の「土木積算システム」では、レベル1（費目）に計上することとなっており、業務費内訳表への表示も記載例に示すとおりとなる。この表示や記載例は、「測量業務積算基準」における費目構成や「業務工種体系ツリー（案）」で定義する体系階層（レベル）とは異なるものであるが、当面は記載例によるものとする。
3. 技術管理費として計上する成果検定費については、精度管理費と同様に各測量作業種別毎に計上するものとし、対象となる測量作業費の配下に計上するか、当該測量作業の単位数量当り単価表に含めて計上するものとする。以下に、成果検定費を当該測量作業の単位数量当り単価表に計上する場合の方法について、その作成例を示す。（積算例1）
- なお、成果検定費を計上する場合にあたっては、諸経费率及び安全费率の対象額に含めないこととなっているので注意を要する。
4. 参考として、現地に滞在して作業する場合の旅費交通費の作成例を以下に示す。（積算例2）

【積算例1：成果検定費の計上方法】

施工 第 0-001 号 V1001	単価表	1級基準点測量	市街地・耕地／平地と原野／低山地の混在 内・外業 成果検定費 有 5 点 当り
-----------------------	-----	---------	--

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
01 測量主任技師(内業) (冬期割増対象外)	2.000	人	31,200	62,400	R1000610 数量 2.000 * 1.00
02 測量技師(内業) (冬期割増対象外)	5.500	人	25,500	140,250	R1000620 数量 5.500 * 1.00
03 測量技師	6.000	人	25,500	153,000	R0000620 数量 6.000 * 1.00
04 測量技師補(内業) (冬期割増対象外)	4.500	人	21,700	97,650	R1000630 数量 4.500 * 1.00
05 測量技師補	8.000	人	21,700	173,600	R0000630 数量 8.000 * 1.00
06 測量助手	1.500	人	20,300	30,450	R0000640 数量 1.500 * 1.00
07 機械経費	5.00	%	657,350	32,867	#01 直接人件費の%
08 通信運搬費等	2.50	%	657,350	16,433	#01 直接人件費の%
09 材料費	4.00	%	657,350	26,294	#01 直接人件費の%

施工 第 0-001 号 V1001	単価表	1級基準点測量	市街地・耕地／平地と原野／低山地の混在 内・外業 成果検定費 有 5 点 当り
-----------------------	-----	---------	--

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
10 精度管理費	10.00	%	690,217	69,021	#02 人件費, 機械経費の%
11 成果検定費(1級基準点) GPS測量機	5.000	点	11,000	55,000	X7291860
合計	5	点		856,965	
単位当り	1	点		171,300	

積算条件一覧表

(1) 基準点測量

- 1) 路線延長 L=5.0km (市街地乙/平地 1.0km、耕地/平地 2.0km、原野/低山地 2.0km)

変化率集計表

地域/地形	市街地乙	平地	$0.0 \times 1/5 = 0.00$
	耕地	平地	$0.0 \times 2/5 = 0.00$
	原野	低山地	$0.0 \times 2/5 = 0.00$
計			0.00

∴ 地域差による変化率 = $1 + 0.00 = 1.00$

(2) 水準測量

- 1) 路線延長 L=5.0km (市街地乙/平地 1.0km、耕地/平地 2.0km、原野/低山地 2.0km)

変化率集計表

地域/地形	市街地乙	平地	$0.0 \times 1/5 = 0.00$
	耕地	平地	$0.0 \times 2/5 = 0.00$

【積算例2：現地に滞在して作業する場合の旅費交通費】

施工 第 0-021 号 V9101	単価表	往復旅費及び滞在費 測量技師	仙台～弘前 滞在(外業所要)日数35日	1	人 当り
-----------------------	-----	----------------	------------------------	---	------

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
01 測量技師(内業) (冬期割増対象外)	1.000	人	25,500	25,500	R1000620 基準日額 数量 1.000 * 1.00
02 日当 測量技師 (冬期割増対象外)	2.000	日	2,095	4,190	R1009021 数量 2.000 * 1.00
03 交通費(鉄道運賃(片道)) 仙台～弘前間	2.000	人	10,390	20,780	X9101001 数量 2.000 * 1.00
04 宿泊費 測量技師 (冬期割増対象外)	1.000	泊	9,333	9,333	R1009022 数量 1.000 * 1.00
05 滞在費 測量技師(30日未満) (冬期割増対象外)	29.000	泊	8,752	253,808	R1009023 数量 29.000 * 1.00
06 滞在費 測量技師(30日以上60日未満) (冬期割増対象外)	5.000	泊	7,866	39,330	R1009024 数量 5.000 * 1.00
合計	1	人		352,941	

2. 地質調査業務費の記載例

(1) 一般地質調査（路線調査）の記載例

【記載例 2 - 1】

地質調査業務費内訳表

費目	工種	種別	細別・規格	積算要素	数量	単位	単価	金額	摘要
《地質調査業務費》 委託数量N= 4.00 孔									
地質調査費									
					1.00	式			
地盤調査									
					1.00	式			
機械ボーリング									
					1.00	本			
土質ボーリング									
					5.00	m			
機械ボーリング									
					5.00	m			WI202101
機械ボーリング									
					3.00	本			
土質ボーリング									
					30.00	m			
機械ボーリング									
					30.00	m			WI202101
土質ボーリング									
					15.00	m			
機械ボーリング									
					15.00	m			WI202101
サンプリング									
					1.00	式			
サンプリング									
					6.00	本			WI202201 N=3.0箇所×2本
サウンディング及び原位置試験									
					1.00	式			
サウンディング及び原位置試験									
					18.00	回			WI202301
サウンディング及び原位置試験									
					15.00	回			WI202301
サウンディング及び原位置試験									
					5.00	回			WI202301
サウンディング及び原位置試験									
					6.00	回			WI202301 N=3.0孔×2回
室内試験（CBR試験）									
					1.00	式			
室内CBR用試料採取									
					4.00	個			Z7190510
変状土CBR試験									
					4.00	試料			Z7190530
室内試験（土質試験）									
					1.00	式			
土粒子の密度試験									
					23.00	試料			Z7190210
土の含水比試験									
					23.00	試料			Z7190220
土の粒度試験(1)									
					23.00	試料			Z7190230

費目	工種	種別	細別・規格	積算要素	数量	単位	単価	金額	摘要
土の液性限界試験 6点/試料 JISA1205					23.00	試料			Z7190280
土の塑性限界試験 3個/試料 JISA1206					23.00	試料			Z7190290
土の圧密試験 1供試体/試料 JISA1217					6.00	試料			Z7190430
土の一軸圧縮試験 2供試体/試料 JISA1216					6.00	試料			Z7190420
土の三軸圧縮試験(1) JGS 0521 非圧密非排水試験 (UU試験)					6.00	試料			Z7190460
解析等調査業務 (直接労務費) 機械ボーリング					1.00	式			
解析等調査業務 資料整理とりまとめ (直接労務費) 土質ボーリング					1.00	業務			WI922701
解析等調査業務 断面図等の作成 (直接労務費) 土質ボーリング					1.00	業務			WI922701
電子成果品作成費					1.00	式			Z10
直接調査費計					1.00	式			
運搬費					1.00	式			Z04
資機材運搬					1.00	式			
トラック運転経費 2 t 車 (2.9 t 吊りクレーン付き) 1 時間					2.00	日			WI202406
人員輸送					1.00	式			
連絡車 (ライトバン) 運転費 1 時間					20.00	日			WI202409
現場内小運搬					1.00	式			
現場内小運搬 人肩運搬 5.0 m 超 10.0 m 以下					1.60	t			WI202401
仮設費					1.00	式			Z01
足場仮設					1.00	式			
足場仮設 平地足場 深度 5.0 m 以下					4.00	箇所			WI202501
その他					1.00	式			Z07
その他間接調査費 準備及び跡片付け					1.00	業務			WI202601
その他間接調査費 環境保全 (仮囲い)					1.00	箇所			WI202601
その他間接調査費 調査孔閉塞					4.00	箇所			WI202601
その他間接調査費 給水費 (ポンプ運転) 2.0 m 以上 15.0 m 以下					2.00	箇所			WI202601
施工管理費					1.00	式			Z06
間接調査費計									
純調査費									

解析等調査業務のうち、直接労務費に係わるものは、直接調査費として計上すること。

電子成果品作成費は、レベル1 (費目) 又はレベル2 (工種) に計上すること。

費目	工種	種別	細別・規格	積算要素	数量	単位	単価	金額	摘要
諸経費									
調査業務価格									
消費税相当額									
地質調査業務費									

解析等調査業務のうち、直接人件費に係わるものは、コンサルタント的調査業務として扱うことから、便宜上「設計業務費内訳表」によるものである。

[地質調査の解析等調査業務の例]

設計業務費内訳表

費目	工種	種別	細別・規格	積算要素	数量	単位	単価	金額	摘要
《設計業務費》				委託数量N = 1.00 式					
解析等調査業務費					1.00	式			
地盤解析					1.00	式			
解析等調査業務 (直接人件費) 機械ボーリング					1.00	式			
解析等調査業務 既存資料の収集・現地調査 (直接人件費) 土質ボーリング					1.00	業務			WI922701
解析等調査業務 資料整理とりまとめ (直接人件費) 土質ボーリング					1.00	業務			WI922701
解析等調査業務 断面図等の作成 (直接人件費) 土質ボーリング					1.00	業務			WI922701
解析等調査業務 総合解析とりまとめ (直接人件費) 4～5種					1.00	業務			WI922701
解析等調査業務 打合せ協議 (直接人件費) 中間打合せ 1回					1.00	業務			WI922701
直接人件費計 (電子計算機使用料等含む)									
旅費交通費					1.00	式			Z02
旅費交通費 (打合せ協議)					1.00	式			
連絡車 (ライトバン) 運転費 1時間					3.00	日			WI202409
直接経費計									
直接業務費									
諸経費									
間接業務費									
技術経費									
業務価格									
消費税相当額									

費目	工種	種別	細別・規格	積算要素	数量	単位	単価	金額	摘要
業務委託料									

注) 1. ここに記載した体系階層（レベル）は、青森県が独自に定めた「業務工種体系ツリー（案）」によるものである。

2. 直接経費のうち「電子成果品作成費」を計上する場合、現行の「土木積算システム」においては、レベル1（費目）又はレベル2（工種）に計上し、業務費内訳表への表示も記載例に示すとおりとなる。この表示や記載例は「地質調査積算基準」における費目構成や「業務工種体系ツリー（案）」で定義する体系階層（レベル）とは異なるものであるが、当面は記載例によるものとする。

地質調査業務における「電子成果品作成費」は、直接労務費に定率を乗じて求め、地質調査業務費内訳表に計上されるため、「設計業務費」として積算する解析等調査業務費においては、「電子成果品作成費」を計上しないものとする。

3. 間接調査費として計上する「運搬費」「仮設費」「施工管理費」等についても、現行の「土木積算システム」では、レベル1（費目）に計上することとなっており、業務費内訳表への表示も記載例に示すとおりとなる。この表示や記載例も、「地質調査積算基準」における費目構成や「業務工種体系ツリー（案）」で定義する体系階層（レベル）とは異なるので注意が必要である。

また、準備及び跡片付け等の「その他間接調査費」については、レベル1（費目）に「その他」と記載され、その配下（レベル2）にそれぞれの必要項目が記載される。

(2) 地すべり調査の記載例

【記載例 2 - 2】

地質調査業務費内訳表

費目	工種	種別	細別・規格	積算要素	数量	単位	単価	金額	摘要
《地質調査業務費》 委託数量N= 1.00 式									
地すべり調査費									
					1.00	式			
地盤調査									
					1.00	式			
機械ボーリング									
					11.00	本			
土質ボーリング									
					90.00	m			
機械ボーリング									
					90.00	m			WI202101
土質ボーリング									
					120.00	m			
機械ボーリング									
					120.00	m			WI202101
岩盤ボーリング									
					60.00	m			
機械ボーリング									
					55.00	m			WI202101
機械ボーリング									
					5.00	m			WI202101
岩盤ボーリング									
					30.00	m			
機械ボーリング									
					27.00	m			WI202101
機械ボーリング									
					3.00	m			WI202101
機械ボーリング									
					1.00	本			
土質ボーリング									
					10.00	m			
機械ボーリング									
					10.00	m			WI202101
土質ボーリング									
					10.00	m			
機械ボーリング									
					10.00	m			WI202101
岩盤ボーリング									
					10.00	m			
機械ボーリング									
					10.00	m			WI202101
サウンディング及び原位置試験									
					1.00	式			
サウンディング及び原位置試験									
					100.00	回			WI202301
サウンディング及び原位置試験									
					130.00	回			WI202301
サウンディング及び原位置試験									
					70.00	回			WI202301

費目	工種	種別	細別・規格	積算要素	数量	単位	単価	金額	摘要
解析等調査業務 (直接労務費)									
機械ボーリング					1.00	式			
解析等調査業務 資料整理とりまとめ (直接労務費)					1.00	業務			WI922701
土質ボーリング					1.00	業務			WI922701
解析等調査業務 断面図等の作成 (直接労務費)					1.00	業務			
土質ボーリング									
地下水調査					1.00	式			
地下水水位測定					1.00	孔			
水位計 設置 自記式水位計					1.00	基			V2001
水位計 観測 自記式水位計					10.00	基・回			V2002
水位計 資料整理 自記式水位計					4.00	基・月			V2003
地下水水位計 設置 半自動観測計器 深度30m					1.00	基			V2004
地下水水位計 データ集積 半自動観測計器					1.00	回			V2005
地下水水位計 資料整理 半自動観測計器					3.00	月			V2006
水位計 観測 触針式水位計					320.00	基・回			V2007
水位計 資料整理 触針式水位計					32.00	基・月			V2008
地下水検層					10.00	孔			
地下水検層 観測					10.00	孔			V2009
地下水追跡					1.00	孔			
地下水追跡 投入・採水					1.00	月			V2010
地下水追跡 分析					720.00	試料			V2011
移動変形調査					1.00	式			
伸縮計による調査					3.00	基			
伸縮計 設置					3.00	基			WI203103
伸縮計 観測 120日					48.00	基・回			WI203106
伸縮計 資料整理					12.00	基・月			WI203109
傾斜計による調査					5.00	基			
傾斜計 設置					5.00	基			WI203112
傾斜計 観測 120日					200.00	基・回			WI203115
傾斜計 資料整理					20.00	基・月			WI203118
パイプ式歪計による調査					7.00	孔			

解析等調査業務のうち、直接労務費に係わるものは、直接調査費として計上すること。

費目	工種	種別	細別・規格	積算要素	数量	単位	単価	金額	摘要
パイプ式歪計	設置		4ゲージ2方向 L=1.0m φ48mm	深度30m	5.00	孔			WI203121
パイプ式歪計	設置		4ゲージ2方向 L=1.0m φ48mm	深度20m	2.00	孔			WI203121
パイプ式歪計	観測				280.00	孔・回			WI203124
パイプ式歪計	資料整理				28.00	孔・月			WI203127
挿入式孔内傾斜計による調査					1.00	孔			
挿入式孔内傾斜計	設置			深度30m	1.00	孔			WI203130
挿入式孔内傾斜計	観測				40.00	孔・回			WI203133
挿入式孔内傾斜計	資料整理				4.00	孔・月			WI203136
電子成果品作成費					1.00	式			Z10
直接調査費計					1.00	式			
運搬費					1.00	式			Z04
資機材運搬					1.00	式			
トラック運転経費			4t車(2.9t吊りクレーン付き)	2時間	2.00	日			WI202406
人員輸送					1.00	式			
連絡車(ライトバン)運転費				1時間	135.00	日			WI202409
現場内小運搬					1.00	式			
現場内小運搬	人肩運搬			50m超1000m以下	2.80	t			WI202401
現場内小運搬	モノレール運搬			500m超1000m以下	2.80	t			WI202401
現場内小運搬	モノレール架設・撤去			500m超1000m以下	1.00	箇所			WI202401
現場内小運搬	モノレール機械器具損料			500m超1000m以下	95.00	日			X9202403
仮設費					1.00	式			Z01
足場仮設					1.00	式			
足場仮設	平坦地足場			深度50m以下	1.00	箇所			WI202501
足場仮設	傾斜地足場			15°以上~30°未満、深度50m以下	6.00	箇所			WI202501
足場仮設	傾斜地足場			15°以上~30°未満、深度50m超80m以下	1.00	箇所			WI202501
足場仮設	傾斜地足場			30°以上~45°未満、深度50m以下	3.00	箇所			WI202501
その他					1.00	式			Z07
その他間接調査費	準備及び跡片付け				1.00	業務			WI202601

電子成果品作成費は、レベル1(費目)又はレベル2(工種)に計上すること。

費目	工種	種別	細別・規格	積算要素	数量	単位	単価	金額	摘要
その他間接調査費 準備及び跡片付け					1.00	業務			WI202601
その他間接調査費 搬入路伐採等					750.00	m			WI202601
旅費交通費					1.00	式			Z02
旅費交通費（現地観測）					1.00	式			
連絡車（ライトバン）運転費 1時間					320.00	日			WI202409
施工管理費					1.00	式			Z06
間接調査費計									
純調査費									
諸経費									
調査業務価格									
消費税相当額									
地質調査業務費									

解析等調査業務のうち、直接人件費に係わるものは、コンサルタント的調査業務として扱うことから、便宜上「設計業務費内訳表」によるものである。

[地すべり調査の解析等調査業務の例]

設計業務費内訳表

費目	工種	種別	細別・規格	積算要素	数量	単位	単価	金額	摘要
《設計業務費》 解析等調査業務費				委託数量N = 1.00 式					
地下水解析					1.00	式			
地下水検層					1.00	式			
地下水検層 解析					1.00	式			V2012
地下水追跡					10.00	孔			
地下水追跡 解析					1.00	式			V2013
地すべり解析					720.00	試料			
計画準備					1.00	式			
計画準備 7種目					1.00	業務			WI203100
解析					1.00	式			
地盤特性検討 3箇所					1.00	業務			WI203139

費目	工種	種別	細別・規格	積算要素	数量	単位	単価	金額	摘要
機構解析 1個					1.00	業務			WI203142
安定解析 3断面					1.00	業務			WI203145
対策工法選定 1個所					1.00	業務			WI203148
報告書作成					1.00	式			
報告書作成 7種目					1.00	業務			WI203151
打合せ協議					1.00	式			
打合せ協議					1.00	式			
地すべり調査 中間打合せ 4回					1.00	業務			WI203154
直接人件費計（電子計算機使用料等含む）									
旅費交通費					1.00	式			Z02
旅費交通費（打合せ協議）					1.00	式			
連絡車（ライトバン）運転費 1時間					6.00	日			WI202409
電子成果品作成費					1.00	式			
直接経費計									
直接業務費									
諸経費									
間接業務費									
技術経費									
業務価格									
消費税相当額									
業務委託料									

基礎地盤調査と同時発注
する場合には、レベル2
（工種）に計上する。

「設計業務等積算基準」
による『その他の設計業
務』の計算式を適用して
計上する。

- 注) 1. ここに記載した体系階層（レベル）は、青森県が独自に定めた「業務工種体系ツリー（案）」によるものである。
2. 機械ボーリングに係る解析等調査業務費の計上について、直接労務費に係わるものは直接調査費として地質調査業務費内訳表に計上されるが、直接人件費に係わるものについては、「地すべり解析」と重複することから計上しないものとする。
3. 直接経費のうち「電子成果品作成費」を計上する場合、現行の「土木積算システム」においては、レベル1（費目）又はレベル2（工種）に計上し、業務費内訳表への表示も記載例に示すとおりと

なる。この表示や記載例は「地質調査積算基準」における費目構成や「業務工種体系ツリー（案）」で定義する**体系階層（レベル）**とは異なるものであるが、当面は記載例によるものとする。

なお、地すべり調査については、一般的な地質調査と異なり、「設計業務費」として積算される解析等調査業務費にも「電子成果品作成費」を計上するものとし、その場合の計算式は、「設計業務等積算基準」による『その他の設計業務』を適用するものとする。

4. 間接調査費として計上する「運搬費」「仮設費」「施工管理費」等についても、現行の「土木積算システム」では、レベル1（費目）に計上することとなっており、業務費内訳表への表示も記載例に示すとおりとなる。この表示や記載例も、「地質調査積算基準」における費目構成や「業務工種体系ツリー（案）」で定義する**体系階層（レベル）**とは異なるので注意が必要である。

また、準備及び跡片付け等の「その他間接調査費」については、レベル1（費目）に「その他」と記載され、その配下（レベル2）にそれぞれの必要項目が記載される。

3. 設計業務費の記載例

(1) 道路設計業務の記載例

【記載例 3-1】

設計業務費内訳表

費目	工種	種別	細別・規格	積算要素	数量	単位	単価	金額	摘要
《設計業務費》				委託延長 L = 5.00 km					
道路計画・設計					1.00	式			
道路設計					1.00	式			
道路詳細設計					1.00	式			
道路詳細設計 (A) 平地・山地・市街地の混在 4車線・6車線の混在					5.00	k m			V3001 施工第 0-001 号表
取付道路詳細設計					300.00	m			WI302500 N = 5箇所
大型用排水路詳細設計					600.00	m			WI302503 N = 3箇所
平面交差点詳細設計 (予備設計あり) 設計計画・現地踏査を除く					2.00	箇所			V3002 施工第 0-004 号表
座標計算					5.00	k m			WI302506
設計協議 道路詳細設計 中間打合せ 7回					1.00	業務			V3003 施工第 0-006 号表
門型ラーメン・箱型函渠設計					1.00	式			
箱型函渠詳細設計 (1号函渠) 2連1層					3.00	箇所			
箱型函渠詳細設計 2連1層					2.40	箇所			V3004 施工第 0-007 号表
斜角による割増費 箱型函渠詳細設計 2連1層					1.00	式			V3005 施工第 0-008 号表
ウイング設計による割増費 箱型函渠詳細設計					1.00	式			V3006 施工第 0-009 号表
一般構造物基礎工 詳細設計 既製杭					2.60	箇所			WI302618 施工第 0-010 号表
箱型函渠詳細設計 (2・3号函渠) 1連1層					2.00	箇所			
箱型函渠 詳細設計 1連1層 1断面					2.00	箇所			WI302604 施工第 0-011 号表
斜角による割増費 箱型函渠詳細設計 1連1層					1.00	式			V3007 施工第 0-012 号表
ウイング設計による割増費 箱型函渠詳細設計					1.00	式			V3008 施工第 0-013 号表
擁壁・補強土設計					1.00	式			
逆T式擁壁詳細設計					1.00	箇所			
逆T式擁壁詳細設計 高さ 4.0m~8.5m					4.80	断面			V3009 施工第 0-014 号表
一般構造物基礎工 詳細設計 既製杭					5.00	箇所			WI302618
重力式擁壁詳細設計					1.00	箇所			

【積算例 1-4】の積算条件一覧表に示す補正後の積算箇所数を計上すること。

補正後の積算箇所数を計上すること。

【積算例 1-11】の積算条件一覧表に示す補正後の積算断面数を計上すること。

費目	工種	種別	細別・規格	積算要素	数量	単位	単価	金額	摘要
				重力式擁壁詳細設計 高さ 3.0m～5.0m	1.00	断面			V3010 施工第 0-015 号表
				一般構造物基礎工 詳細設計 既製杭	1.00	箇所			WI302618
				仮設構造物詳細設計	1.00	式			
				土留工詳細設計 自立式	1.00	基			WI303200
				法面工設計	1.00	式			
				アンカー付吹付法枠詳細設計	1.00	箇所			
				法面工詳細設計 アンカー付吹付法枠 スベリ安定計算を行わない	1.70	断面			V3011 施工第 0-017 号表
				計画面積による割増費 アンカー付吹付法枠 スベリ安定計算を行わない	1.00	式			V3012 施工第 0-018 号表
				直接人件費計（電子計算機使用料等含む）					
				旅費交通費					Z02
				旅費交通費（現地踏査）	1.00	式			
				連絡車（ライトバン）運転費 2時間	4.00	日			WI202409
				旅費交通費（設計協議）	1.00	式			
				連絡車（ライトバン）運転費 1時間	9.00	日			WI202409
				電子成果品作成費	1.00	式			
				直接経費計					
				直接業務費					
				諸経費					
				間接業務費					
				技術経費					
				業務価格					
				消費税相当額					
				業務委託料					

補正後の積算断面数を計上すること。

「設計業務等積算基準」による『概略設計、予備設計及び詳細設計』の計算式を適用して計上する。

- 注) 1. ここに記載した体系階層（レベル）は、青森県が独自に定めた「業務工種体系ツリー（案）」によるものである。
2. レベル4（細別）に計上される数量は、「類似構造物の補正」等による補正後の「箇所数」等を記載するものとする。

3. 「事務用品」「旅費交通費」等の直接経費を計上する場合、現行の「土木積算システム」では、レベル1（費目）に計上することとなっており、業務費内訳表への表示も記載例に示すとおりとなる。この表示や記載例も「設計業務等積算基準」における費目構成や「業務工種体系ツリー（案）」で定義する**体系階層（レベル）**とは異なるものであるが、当面は記載例によるものとする。
4. 以下に、この設計業務費内訳表に記載した種別、細別の代表的な単価表の作成例を示す。

【積算例3-1】

施工 第 0-001 号 V3001	単価表	道路詳細設計 (A)	平地・山地・市街地の混在 4車線・6車線の混在	1	km 当り
-----------------------	-----	------------	----------------------------	---	-------

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
01 技師長(内業) (冬期割増対象外)	0.680	人	52,100	35,428	R1000710 数量 0.500 * 1.36
02 主任技師(内業) (冬期割増対象外)	2.720	人	45,900	124,848	R1000720 数量 2.000 * 1.36
03 技師A(内業) (冬期割増対象外)	8.160	人	38,900	317,424	R1000730 数量 6.000 * 1.36
04 技師A	0.680	人	38,900	26,452	R0000730 現地踏査 数量 0.500 * 1.36
05 技師B(内業) (冬期割増対象外)	14.280	人	31,300	446,964	R1000740 数量 10.500 * 1.36
06 技師B	0.680	人	31,300	21,284	R0000740 現地踏査 数量 0.500 * 1.36
07 技師C(内業) (冬期割増対象外)	17.680	人	26,500	468,520	R1000750 数量 13.000 * 1.36
08 技師C	0.680	人	26,500	18,020	R0000750 現地踏査 数量 0.500 * 1.36
09 技術員(内業) (冬期割増対象外)	17.000	人	23,000	391,000	R1000760 数量 12.500 * 1.36

施工 第 0-001 号 V3001	単価表	道路詳細設計 (A)	平地・山地・市街地の混在 4車線・6車線の混在	1	km 当り
-----------------------	-----	------------	----------------------------	---	-------

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
10 製図工(図工) (冬期割増対象外)	6.120	人	20,300	124,236	R1000770 数量 4.500 * 1.36
11 電子計算機使用料	9.00	%	1,849,940	166,494	#01 直接人件費の% 間 9
合計	1	km		2,140,670	

積算条件一覧表

(1) 道路詳細設計 (A)

- 1) 設計延長 L=5.0km
- 2) 市街地(複断面・6車線) 1.0km、平地(4車線) 2.0km、
山地(4車線) 2.0km
- 3) 暫定計画は行なわない。
- 4) 歩道設計(両側)を行う。
- 5) 取付道路、付替水路の設計を行う。
- 6) 道路環境関連施設の設計は行なわない。
- 7) 特殊法面の設計は別途計上する。(本設計では行なわない。)
- 8) 工区分(分割)を行う。
- 9) 軟弱地盤処理に対する設計を含めない。
- 10) 施工中の車線変更等の設計を含めない。

∴ 補正係数 = 1 + 0.36 = 1.36

補正条件集計表

地 形	平 地	0 % × 2/5 =	0 %
	山 地	15 % × 2/5 =	6 %
	市街地	20 % × 1/5 =	4 %
車 線 数	4 車線	0 % × 4/5 =	0 %
	6 車線	10 % × 1/5 =	2 %
複 断 面		20 % × 1/5 =	4 %
暫 定 計 画	無 し		= 0 %
歩 道 設 計	有 り		= 10 %
取 付 道 路 ・ 水 路	有 り		= 0 %
環 境 関 連 施 設	無 し		= 0 %
特 殊 法 面	無 し		= 0 %
工 区 分 割	有 り		= 10 %
地 盤 改 良	無 し		= 0 %
計			36 %

(2) 取付道路詳細設計

- 1) 設計箇所 N = 5箇所
- 2) 設計延長(30mを超える部分) L = 300m

【積算例3-2】

施工第0-004号 V3002	単価表	平面交差点詳細設計（予備設計あり）	設計計画・現地踏査を除く	1	箇所 当り
--------------------	-----	-------------------	--------------	---	-------

名称・規格	数量	単位	単価	金額	摘要
01 主任技師(内業) (冬期割増対象外)	1.000	人	45,900	45,900	R1000720 数量 1.000 * 1.00
02 主任技師	0.000	人	45,900	0	R0000720 現地踏査 数量 0.000 * 1.00
03 技師A(内業) (冬期割増対象外)	2.000	人	38,900	77,800	R1000730 数量 2.000 * 1.00
04 技師A	0.000	人	38,900	0	R0000730 現地踏査 数量 0.000 * 1.00
05 技師B(内業) (冬期割増対象外)	3.500	人	31,300	109,550	R1000740 数量 3.500 * 1.00
06 技師C(内業) (冬期割増対象外)	4.500	人	26,500	119,250	R1000750 数量 4.500 * 1.00
07 技術員(内業) (冬期割増対象外)	4.500	人	23,000	103,500	R1000760 数量 4.500 * 1.00
08 電子計算機使用料	3.00	%	456,000	13,680	#01 直接人件費の% 間 9
合計	1	箇所		469,680	

【積算例3-3】

施工第0-006号 V3003	単価表	設計協議	道路詳細設計 中間打合せ 7回	1	業務 当り
--------------------	-----	------	--------------------	---	-------

名称・規格	数量	単位	単価	金額	摘要
01 主任技師(内業) (冬期割増対象外)	1.000	人	45,900	45,900	R1000720
02 技師A(内業) (冬期割増対象外)	4.500	人	38,900	175,050	R1000730
03 技師B(内業) (冬期割増対象外)	3.500	人	31,300	109,550	R1000740
合計	1	業務		330,500	

【積算例3-4】

施工 第 0-007 号 V3004	単価表	箱型函渠詳細設計	2連1層	1	箇所 当り
-----------------------	-----	----------	------	---	-------

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
01 主任技師(内業) (冬期割増対象外)	1.440	人	45,900	66,096	R1000720 数量 1.000 * 1.44
02 技師A(内業) (冬期割増対象外)	3.600	人	38,900	140,040	R1000730 数量 2.500 * 1.44
03 技師B(内業) (冬期割増対象外)	5.040	人	31,300	157,752	R1000740 数量 3.500 * 1.44
04 技師C(内業) (冬期割増対象外)	8.640	人	26,500	228,960	R1000750 数量 6.000 * 1.44
05 技術員(内業) (冬期割増対象外)	4.320	人	23,000	99,360	R1000760 数量 3.000 * 1.44
06 電子計算機使用料	9.00	%	692,208	62,298	#01 直接人件費の%
合計	1	箇所		754,506	間 9

積算条件一覧表

(4) 箱型函渠詳細設計 (1号函渠)

- 1) 断面形状は、2連1層。
- 2) 予備設計を行ない、概略設計計算済。
- 3) 杭基礎。(標準設計は適用できない。)
- 4) 土被りの変化に伴い、3断面設計とする。
- 5) 斜角は65°、両側に形状の異なるウイングの設計を行う。
- 6) 仮設設計は行なわない。
- 7) 現地踏査は計上しない。

増減率表

断面形状による増減	2連1層		60%
概算設計計算の有無	有	-10%	
標準設計使用の有無	無	0%	-10%
類似構造による増減	無	0%	
斜角による増減	θ < 70°		30%
ウイング設計の有無	有(両側)		60%
同一施工場所における箇所数			3箇所

∴ 1箇所当り増減率 = (1 + 0.60) × 0.90 = **1.44**

∴ 積算箇所数 n = 1 + (**3** - 1) × 0.7 = **2.4**

∴ 斜角による割増 = 0.30 + 0.00 = **0.30**

∴ ウイング設計による割増 = 0.60 + 0.00 = **0.60**

- 8) 基礎工詳細設計は、既製杭について行なう。
- 9) 基礎杭の杭種及び杭径は同一とする。

∴ 類似構造物の補正係数 = 0.20 + 0.80 × 3 = **2.60**

(5) 箱型函渠詳細設計 (2・3号函渠)

- 1) 断面形状は、1連1層。
- 2) 直接基礎。
- 3) 標準設計を使用する。
- 4) 2箇所とも断面形状の変化なし。
- 5) 2号函渠 θ = 90° ウイング形状同じ(片側を設計する。)
- 6) 3号函渠 θ = 60° ウイング形状異なる(両側を設計する。)
- 7) 仮設設計は行なわない。
- 8) 現地踏査は計上しない。

増減率表

断面形状による増減	1連1層		0%
概算設計計算の有無	無	0%	
標準設計使用の有無	有	-30%	-30%
類似構造による増減	無	0%	
斜角による増減	2号	θ = 90°	0%
	3号	θ < 70°	30%
ウイング設計の有無	2号	有(片側)	30%
	3号	有(両側)	60%
同一施工場所における箇所数			1箇所

∴ 1箇所当り増減率 = (1 + 0.00) × 0.70 = **0.70**

∴ 使用する標準設計図面番号のタイプ数 n = **2.0**

∴ 斜角による割増 = 0.00 + 0.30 = **0.30**

∴ ウイング設計による割増 = 0.30 + 0.60 = **0.90**

(6) 逆T式擁壁詳細設計

- 1) 予備設計を行い、概略設計計算済。
- 2) 杭基礎。(標準設計は適用できない。)
(A) H=4.0m、L=20m(同高)

【積算例 3 - 5】

施工 第 0-008 号 V3005	単価表	斜角による割増費	箱型函渠詳細設計 2連1層	1	式 当り
-----------------------	-----	----------	------------------	---	------

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
01 主任技師(内業) (冬期割増対象外)	0.432	人	45,900	19,828	R1000720 数量 1.440 * 0.30
02 技師A(内業) (冬期割増対象外)	1.080	人	38,900	42,012	R1000730 数量 3.600 * 0.30
03 技師B(内業) (冬期割増対象外)	1.512	人	31,300	47,325	R1000740 数量 5.040 * 0.30
04 技師C(内業) (冬期割増対象外)	2.592	人	26,500	68,688	R1000750 数量 8.640 * 0.30
05 技術員(内業) (冬期割増対象外)	1.296	人	23,000	29,808	R1000760 数量 4.320 * 0.30
06 電子計算機使用料	9.00	%	207,661	18,689	#01 直接人件費の% 間 9
合計	1	式		226,350	

【積算例 3 - 6】

施工 第 0-009 号 V3006	単価表	ウイング設計による割増費	箱型函渠詳細設計	1	式 当り
-----------------------	-----	--------------	----------	---	------

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
01 主任技師(内業) (冬期割増対象外)	0.600	人	45,900	27,540	R1000720 数量 1.000 * 0.60
02 技師A(内業) (冬期割増対象外)	1.500	人	38,900	58,350	R1000730 数量 2.500 * 0.60
03 技師B(内業) (冬期割増対象外)	2.100	人	31,300	65,730	R1000740 数量 3.500 * 0.60
04 技師C(内業) (冬期割増対象外)	3.600	人	26,500	95,400	R1000750 数量 6.000 * 0.60
05 技術員(内業) (冬期割増対象外)	1.800	人	23,000	41,400	R1000760 数量 3.000 * 0.60
06 電子計算機使用料	9.00	%	288,420	25,957	#01 直接人件費の% 間 9
合計	1	式		314,377	

【積算例3-9】

施工 第 0-012 号 V3007	単価表	斜角による割増費	箱型函渠詳細設計 1連1層	1	式 当り
-----------------------	-----	----------	------------------	---	------

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
01 主任技師(内業) (冬期割増対象外)	0.210	人	45,900	9,639	R1000720 数量 0.700 * 0.30
02 技師A(内業) (冬期割増対象外)	0.525	人	38,900	20,422	R1000730 数量 1.750 * 0.30
03 技師B(内業) (冬期割増対象外)	0.735	人	31,300	23,005	R1000740 数量 2.450 * 0.30
04 技師C(内業) (冬期割増対象外)	1.260	人	26,500	33,390	R1000750 数量 4.200 * 0.30
05 技術員(内業) (冬期割増対象外)	0.630	人	23,000	14,490	R1000760 数量 2.100 * 0.30
06 電子計算機使用料	9.00	%	100,946	9,085	#01 直接人件費の% 間 9
合計	1	式		110,031	

【積算例3-10】

施工 第 0-013 号 V3008	単価表	ウイング設計による割増費	箱型函渠詳細設計	1	式 当り
-----------------------	-----	--------------	----------	---	------

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
01 主任技師(内業) (冬期割増対象外)	0.900	人	45,900	41,310	R1000720 数量 1.000 * 0.90
02 技師A(内業) (冬期割増対象外)	2.250	人	38,900	87,525	R1000730 数量 2.500 * 0.90
03 技師B(内業) (冬期割増対象外)	3.150	人	31,300	98,595	R1000740 数量 3.500 * 0.90
04 技師C(内業) (冬期割増対象外)	5.400	人	26,500	143,100	R1000750 数量 6.000 * 0.90
05 技術員(内業) (冬期割増対象外)	2.700	人	23,000	62,100	R1000760 数量 3.000 * 0.90
06 電子計算機使用料	9.00	%	432,630	38,936	#01 直接人件費の% 間 9
合計	1	式		471,566	

【積算例3-11】

施工 第 0-014 号 V3009	単価表	逆T式擁壁詳細設計	高さ 4.0m~8.5m	1	断面 当り
-----------------------	-----	-----------	--------------	---	-------

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
01 主任技師(内業) (冬期割増対象外)	0.450	人	45,900	20,655	R1000720 数量 0.500 * 0.90
02 技師A(内業) (冬期割増対象外)	0.900	人	38,900	35,010	R1000730 数量 1.000 * 0.90
03 技師B(内業) (冬期割増対象外)	1.800	人	31,300	56,340	R1000740 数量 2.000 * 0.90
04 技師C(内業) (冬期割増対象外)	5.400	人	26,500	143,100	R1000750 数量 6.000 * 0.90
05 技術員(内業) (冬期割増対象外)	4.500	人	23,000	103,500	R1000760 数量 5.000 * 0.90
06 電子計算機使用料	9.00	%	358,605	32,274	#01 直接人件費の%
合計	1	断面		390,879	間 9

積算条件一覧表

(6) 逆T式擁壁詳細設計

- 1) 予備設計を行い、概略設計計算済。
- 2) 杭基礎。(標準設計は適用できない。)
- 3) (A) H=4.0m、L=20m(同高)
(B) H=4.0m~H=8.5m、L=130m
- 4) 仮設計を行う。(別途計上)
- 5) 現地踏査は計上しない。

増減率表

概算設計計算の有無	有 り	-10 %	-10 %
標準設計使用の有無	無 し	0 %	
類似構造による増減	無 し	0 %	
箇所数(A)	同型、同高、同設計条件	1 断面	
箇所数(B)	連続している擁壁で、 擁壁本体の高低差による	5 断面	

$$n_{b1} = \Delta h / 1.0m = 4.5 / 1.0 = 4.5 \approx 5$$

$$n_{b2} = L / 40m = 130.0 / 40 = 3.25 \approx 3$$

$$\therefore 1 \text{断面当り増減率} = 1 \times 0.90 = \boxed{0.90} \quad \therefore \text{積算断面数 } n = \boxed{1} + 1 + (\boxed{5} - 1) \times 0.7 = \boxed{4.8}$$

- 6) 基礎工詳細設計は、既製杭について行なう。
- 7) 基礎杭の杭種及び杭径は同一とする。

$$\therefore \text{類似構造物の補正係数} = 0.20 + 0.80 \times 6 = \boxed{5.00}$$

(7) 重力式擁壁詳細設計

- 1) 予備設計を行っていない。
- 2) 直接基礎である。
- 3) 標準設計を使用する。
- 4) 仮設計を行う。(別途計上)
- 5) 現地踏査は計上しない。

増減率表

概算設計計算の有無	無 し	0 %	-20 %
標準設計使用の有無	有 り	-20 %	
類似構造による増減	無 し	0 %	
図面番号の異なる擁壁が連続する箇所数		2 断面	

$$\therefore 1 \text{断面当り増減率} = 1 \times 0.80 = \boxed{0.80} \quad \therefore \text{使用する標準設計図面番号のタイプ数 } n = \boxed{2.0}$$

(8) 土留工詳細設計

- 1) 逆T式擁壁・重力式擁壁が対象である。
- 2) 鋼矢板工法又は親杭横矢板工法 [H形鋼] とする。

(9) アンカー付吹付法枠詳細設計

- 1) 予備設計を行い、概略設計計算済。
- 2) スペリ安定計算は行わない。
- 3) 計画面積は 3,000㎡とする。
- 4) 現地踏査は計上しない。

増減率表

概算設計計算の有無	有 り	-10 %
計画面積による増減	1000㎡以上	20 %
同一斜面内で行う設計断面数	2 箇所(断面)	

$$\therefore 1 \text{断面当り増減率} = 1 \times 0.90 = \boxed{0.90} \quad \therefore \text{積算断面数 } n = 1 + ($$

$$\therefore \text{計画面積による割増} = \boxed{0.20}$$

【積算例 3-12】

施工 第 0-015 号 V3010	単価表	重力式擁壁詳細設計	高さ 3.0m～5.0m	1	断面 当り
-----------------------	-----	-----------	--------------	---	-------

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
01 主任技師(内業) (冬期割増対象外)	0.400	人	45,900	18,360	R1000720 数量 0.500 * 0.80
02 技師A(内業) (冬期割増対象外)	0.800	人	38,900	31,120	R1000730 数量 1.000 * 0.80
03 技師B(内業) (冬期割増対象外)	1.600	人	31,300	50,080	R1000740 数量 2.000 * 0.80
04 技師C(内業) (冬期割増対象外)	2.800	人	26,500	74,200	R1000750 数量 3.500 * 0.80
05 技術員(内業) (冬期割増対象外)	2.000	人	23,000	46,000	R1000760 数量 2.500 * 0.80
06 電子計算機使用料	9.00	%	219,760	19,778	#01 直接人件費の% 間 9
合計	1	断面		239,538	

【積算例 3-13】

施工 第 0-017 号 V3011	単価表	法面工詳細設計	アンカー付吹付法枠 スベリ安定計算を行わない	1	断面 当り
-----------------------	-----	---------	---------------------------	---	-------

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
01 主任技師(内業) (冬期割増対象外)	0.900	人	45,900	41,310	R1000720 数量 1.000 * 0.90
02 技師A(内業) (冬期割増対象外)	1.800	人	38,900	70,020	R1000730 数量 2.000 * 0.90
03 技師B(内業) (冬期割増対象外)	4.050	人	31,300	126,765	R1000740 数量 4.500 * 0.90
04 技師C(内業) (冬期割増対象外)	5.850	人	26,500	155,025	R1000750 数量 6.500 * 0.90
05 技術員(内業) (冬期割増対象外)	5.400	人	23,000	124,200	R1000760 数量 6.000 * 0.90
06 電子計算機使用料	9.00	%	517,320	46,558	#01 直接人件費の% 間 9
合計	1	断面		563,878	

【積算例 3-14】

施工 第 0-018 号 V3012	単価表	計画面積による割増費	アンカー付吹付法枠 スベリ安定計算を行わない	1	式 当り
-----------------------	-----	------------	---------------------------	---	------

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
01 主任技師(内業) (冬期割増対象外)	0.200	人	45,900	9,180	R1000720 数量 1.000 * 0.20
02 技師 A(内業) (冬期割増対象外)	0.400	人	38,900	15,560	R1000730 数量 2.000 * 0.20
03 技師 B(内業) (冬期割増対象外)	0.900	人	31,300	28,170	R1000740 数量 4.500 * 0.20
04 技師 C(内業) (冬期割増対象外)	1.300	人	26,500	34,450	R1000750 数量 6.500 * 0.20
05 技術員(内業) (冬期割増対象外)	1.200	人	23,000	27,600	R1000760 数量 6.000 * 0.20
06 電子計算機使用料	9.00	%	114,960	10,346	#01 直接人件費の% 間 9
合計	1	式		125,306	